平成 8 年度

日本語能力試験

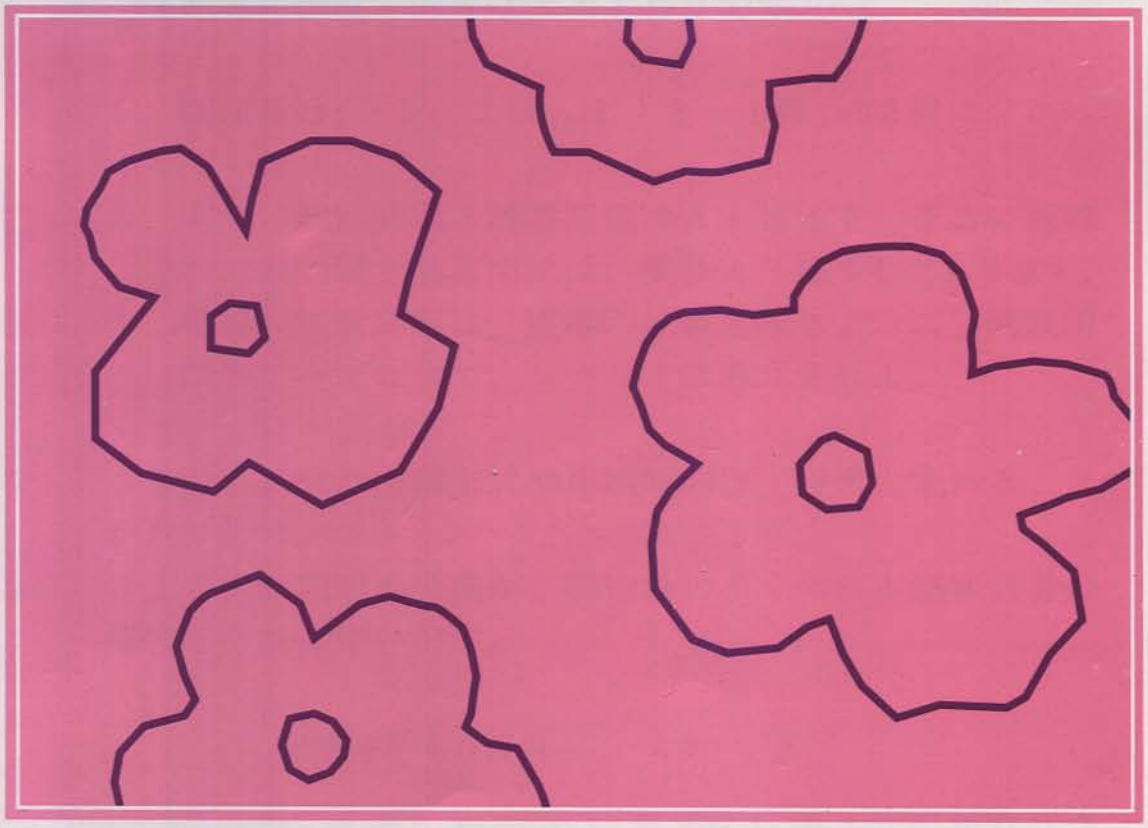
The 1996
Japanese Language Proficiency Test

1・2級 試験問題と正解

Level 1 and 2 Questions and Correct Answers

聴解問題カセットテープ付

Includes a Cassette Tape of the Listening Comprehension Questions



著作・編集
財団法人 日本国際教育協会
国 際 交 流 基 金
Created and Edited by Association of International Education, Japan and The Japan Foundation

発 行 株式会社 凡人社
定価 本体 1,165円+税
ISBN4-89358-367-0 C3081 ¥1165E

はじめに

日本語能力試験が実施されるようになって、13年目を迎えました。この13年の間に、外務省・文部省の支援と、日本語教育関係者の力に支えられ、この試験は、今年度、国内外合わせて32の国と地域、76都市で、約11万5千名の応募者があるまで大規模になりました。

日本語能力試験への関心の高まりにこたえ、受験者と受験希望者に便宜をはかり、また、国内外の日本語学習を奨励するために、今年度も試験の問題と正解を公開することになりました。

問題集の構成・内容は次のとおりです。

1．問題集は、「1・2級」と「3・4級」の2冊に分かれています。
2．実際の試験問題と解答用紙はA4判です。ここに所収の試験問題と解答用紙は、実物より縮少してあります。
3．聴解の試験問題は、実際の試験と同じように、問題用紙とテープだけで、シナリオはありません。

なお、試験の出題形式や出題傾向は、将来、変わることがあります。

この試験問題の公開が、国内外の多くの日本語学習者の助けとなれば幸いです。

平成9年4月15日

財団法人 日本国際教育協会
国際交流基金



目　次

試験問題

【1級】

文字・語彙 …… 2
聴解 …… 14
読解・文法 …… 26

【2級】

文字・語彙 …… 44
聴解 …… 52
読解・文法 …… 62

解答用紙 …… 80

正解と配点 …… 86

参考　平成8年度日本語能力試験実施要項 …… 90

問題用紙

(1996)

1級
文字・語彙
(100点　45分)

注　意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。
2. この問題用紙を持ち帰ることはできません。
3. 受験番号と名前を下の欄に、受験票と同じようにはっきりと書いてください。
4. この問題用紙は、全部で10ページあります。

受験番号　Examinee Registration Number	

名 前　Name	

問題Ⅰ　次の文の下線をつけたことばは、どのように読みますか。その読み方をそれぞれの1・2・3・4から一つ選びなさい。

問1　最近の車はだれでも手軽(1)に運転できるようになったが、依然として(2)事故が増加しており、新たな(3)対策が模索(4)されている。

(1)	手軽に	1	てがるに	2	てかるに	3	しゅげいに	4	しゅけいに
(2)	依然として	1	あぜんとして	2	いぜんとして	3	うぜんとして	4	えぜんとして
(3)	新たな	1	あらたな	2	あたたな	3	あたらたな	4	あらたたな
(4)	模索	1	ぼさく	2	ぼうさく	3	もさく	4	もうさく

問2　その仕事は趣味と実益を兼ねる(1)ような仕事なので、採用時の審査(2)が厳しい(3)にもかかわらず応募(4)する人が多い。

(1)	兼ねる	1	つらねる	2	かさねる	3	かねる	4	こねる
(2)	審査	1	ばんさ	2	そうさ	3	かんさ	4	しんさ
(3)	厳しい	1	きびしい	2	はげしい	3	いさましい	4	たのもしい
(4)	応募	1	のうぼう	2	おうぼう	3	おうぼ	4	のうぼ

問3　長年にわたる支配体制が足元から崩れ始めた(1)のは、自ら(2)の政治的腐敗(3)を省みなかった(4)当然の結果であった。

(1)	崩れ始めた	1	つぶれはじめた			2	こわれはじめた	
		3	たおれはじめた			4	くずれはじめた	
(2)	自ら	1	みずから	2	かれら	3	われら	4	もっぱら
(3)	腐敗	1	ふうばい	2	ふっぱい	3	ふはい	4	ふばい
(4)	省みなかった	1	かえりみなかった			2	もどりみなかった	
		3	こころみなかった			4	はぶきみなかった	

問4　男女の雇用(1)条件の格差(2)は是正(3)されつつある。

(1)	雇用	1	さいよう	2	こうよう	3	さんよう	4	こよう
(2)	格差	1	かくさ	2	きゃくさ	3	らくさ	4	こうさ
(3)	是正	1	ぜっせい	2	ぜっしょう	3	ぜせい	4	ぜしょう

問題Ⅱ　次の文の下線をつけたことばは、ひらがなでどう書きますか。同じひらがなで書くことばを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(例)　外国製品の輸入に関する規制を緩和する。

1　飽和　　2　漢和　　3　穏和　　4　総和

例の文の下線のことばは、ひらがなで「かんわ」と書きます。1～4のことばはそれぞれ、1は「ほうわ」、2は「かんわ」、3は「おんわ」、4は「そうわ」と書きます。例の文の「かんわ(緩和)」と2の「かんわ(漢和)」はひらがなで同じ書き方ですから、正解は2です。

(解答用紙)

(例)	①	●	③	④

(1)　人々から歓声がわきおこる。

1　勘定　　2　関税　　3　完成　　4　感染

(2)　規則正しい生活習慣を身につけることは大切だ。

1　若干　　2　瞬間　　3　主観　　4　週間

(3)　中傷をうけ、困っている。

1　抽象　　2　注射　　3　昼食　　4　忠実

(4)　なつかしい童謡を歌う。

1　東洋　　2　同様　　3　導入　　4　登場

(5)　この仕事について一切の責任を持つ。

1　一斉　　2　一層　　3　一節　　4　一歳

問題III　次の文の下線をつけたことばは、どのような漢字を書きますか。その漢字をそれぞれの1・2・3・4から一つ選びなさい。

問1　彼は(1)ちょめいな小説家として長い間(2)かつやくしてきたが、アイデアが(3)つきてしまったといって(4)そうさく活動から遠ざかっている。

(1)	ちょめいな	1	著明な	2	著銘な	3	著名な	4	著命な
(2)	かつやく	1	活躍	2	括躍	3	活役	4	括役
(3)	つきて	1	喪きて	2	果きて	3	棄きて	4	尽きて
(4)	そうさく	1	想作	2	想策	3	創作	4	創策

問2　これは人類の(1)きげんと(2)しんかを明らかにするための(3)きちょうな(4)しょうこである。

(1)	きげん	1	起元	2	紀元	3	起源	4	紀源
(2)	しんか	1	進化	2	新化	3	伸化	4	深化
(3)	きちょうな	1	輝重な	2	貴重な	3	既重な	4	希重な
(4)	しょうこ	1	詳固	2	詳拠	3	証固	4	証拠

問3　あの会社は、(1)ふどうさんへの(2)とうしの失敗により、会社の存続が(3)あやぶまれているという記事が、雑誌に(4)けいさいされた。

(1)	ふどうさん	1	不働産	2	不動産	3	不動算	4	不働算
(2)	とうし	1	投資	2	統資	3	投賜	4	統賜
(3)	あやぶまれて	1	謝ぶまれて	2	怪ぶまれて	3	難ぶまれて	4	危ぶまれて
(4)	けいさい	1	掛裁	2	掲裁	3	掲載	4	掛載

問4　彼は多くの(1)こうせきをあげているが、(2)けんきょな人で、いつも(3)ひかえめだ。

(1)	こうせき	1	功績	2	巧績	3	功積	4	巧積
(2)	けんきょな	1	賢虚な	2	謙虚な	3	賢許な	4	謙許な
(3)	ひかえめ	1	抑え目	2	抄え目	3	控え目	4	攻え目

問題Ⅳ　次の文の下線をつけたことばの二重線（＿＿）の部分は、どのような漢字を書きますか。同じ漢字を使うものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

（例）　その決議にいぎを唱える。

1　今年の夏はいじょうに暑かった。

2　しゅういを見渡すとだれもいなかった。

3　彼の考えはあんいすぎる。

4　わたしもあなたと同じいけんです。

例の文の下線のことばは「異議」と書きます。1～4のことばはそれぞれ、1は「異常」、2は「周囲」、3は「安易」、4は「意見」と書きます。例の文の「異議」の「い」と、1の「異常」の「い」は同じ漢字ですから、正解は1です。

（解答用紙）

（例）	● ② ③ ④

(1)　しんそうを明らかにする。

1　部下からしんらいされている。

2　しんけんに話し合う。

3　病院のしんりょう時間は9時から5時までだ。

4　しんちょうに検討してからお答えします。

(2)　最近のニュースをわかりやすくかいせつする。

1　へいかい式は10時から行われる。

2　議会をかいさんする。

3　両親に友達をしょうかいする。

4　景気がかいふくする。

(3)　教材をまとめてこうにゅうする。

1　この劇団は来月東京でこうえんする。

2　この建物のこうぞうは複雑だ。

3　外国の雑誌をこうどくしている。

4　大阪のきんこうに家を建てた。

(4) ごういんに頼んで引き受けてもらった。

1 ごうかなホテルに泊まる。

2 銀行にごうとうが入った。

3 水は水素と酸素のかごうぶつだ。

4 数学ではたくさんのきごうが使われる。

(5) 買い物をしたら、りょうしゅうしょをもらってきてください。

1 そのことはりょうしょうした。

2 スポーツと勉強をりょうりつさせる。

3 あの人はりょうしきがある。

4 だいとうりょうに選ばれた。

問題Ⅴ　次の文の＿＿＿の部分に入れるのに最も適当なものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　目を閉じると、楽しかった学生時代の思い出が＿＿＿。

1　よみがえる　2　ちかづける　3　すきとおる　4　たてまつる

(2)　彼はいつも＿＿＿商売をする。

1　けむたい　2　まぶしい　3　はかない　4　あくどい

(3)　うちの子は運転が乱暴で、事故を起こすのではないかと、わたしはいつも＿＿＿している。

1　おどおど　2　しみじみ　3　はらはら　4　ぼつぼつ

(4)　あの人は常に努力を＿＿＿ので、尊敬されている。

1　かばわない　2　おかさない　3　おこたらない　4　かたよらない

(5)　この事業を実行するためには、まず人材を＿＿＿する必要がある。

1　確信　2　確立　3　確率　4　確保

(6)　何回会議をやっても結論が出ないので、＿＿＿いやになった。

1　つくづく　2　わざわざ　3　ぞくぞくと　4　くれぐれも

(7)　畑に＿＿＿コムギが芽を出した。

1　ました　2　まった　3　まいた　4　まげた

(8)　公式の席では、その場に＿＿＿服装が要求される。

1　みぐるしい　2　めざましい　3　たくましい　4　ふさわしい

(9)　いくら努力しても成果があがらないので、＿＿＿なってきた。

1　とうとく　2　むなしく　3　ひさしく　4　たやすく

(10)　海外で買ってきた物を空港で＿＿＿されることがある。

1　収集　2　収容　3　徴収　4　没収

(11)　たいこの音が聞こえてきて、祭りの＿＿＿がいちだんと盛り上がってきた。

1　ブーム　2　ポーズ　3　ムード　4　リード



(12) この古い寺の庭は＿＿＿がある。

1 おおすじ　2 おもむき　3 おとも　4 おそれ

(13) 時間がないので、＿＿＿話してください。

1 ぞんざいに　2 おおまかに　3 にわかに　4 おろそかに

(14) 鈴木さんはいつも＿＿＿ことを言って、まわりの人を困らせる。

1 無効な　2 無念な　3 無茶な　4 無口な

(15) わたしの秘書はとても＿＿＿がいいので助かっている。

1 てぎわ　2 しらべ　3 こころえ　4 うちわけ



問題VI　次の(1)から(10)の＿＿のことばの意味が、それぞれのはじめの文と最も近い意味で使われている文を、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(例)　はずれる……規格にはずれた製品は商品にならない。

1　戸があきにくいので、ガタガタやっているうちに、はずれてしまった。

2　ボールはゴールをはずれて飛んでいった。

3　あの人の歌は音がはずれている。

4　あの人が予想したことはすべてはずれていた。

はじめに示された文の中の「はずれた」は、「ある基準に合っていない」という意味です。1、2、4の「はずれて」は、それぞれ、「はまっていたところから外に出る」、「当たらない」、「正しくない」といった意味ですが、3の「はずれて」は、「音の高さが基準に合っていない」という意味ですから、正解は3です。

(解答用紙)

(例)	①	②	●	④

(1)　はこぶ……何度電話しても担当者が不在なので、さっぱりことがはこばない。

1　交渉が順調にはこぶように努力している。

2　この港には世界中から貨物がはこばれてくる。

3　許可をもらうためには役所に何度も足をはこぶ必要がある。

4　親鳥はせっせとえさをはこび子を育てる。

(2)　ひどい……先輩からひどいことを言われて、泣いてしまいそうになった。

1　ひどいけがをした子供は、なんとか助かりそうだ。

2　ちょっとぶつけただけなのに、ひどくへこんでしまった。

3　こんな安い給料で夜遅くまで働かせるなんて、ひどい社長だよ。

4　試験の点数はひどいものだった。

(3) もつ……そんなに忙しくて、よく体がもつね。

1 この建物はあと５年はもつだろう。

2 この店の支払いはわたしがもつ。

3 自信をもって発言した。

4 地図をもって山に登る。

(4) かげ……小さな魚は、岩のかげに隠れて眠るものが多い。

1 霧の中に人のかげらしいものが浮かんで見えた。

2 夕日に照らされた木のかげが地面に長くのびている。

3 顔の右半分は、光が当たらないため、かげになっている。

4 山のかげにはまだ雪が残っている。

(5) かためる……もう少し市場を調査してから販売方法をかためよう。

1 政府と与党との話し合いで予算案がかためられる予定だ。

2 工事を始める前に土台をしっかりかためなければならない。

3 ゼリーをかためるためには冷蔵庫に入れるのがいい。

4 雪を握ってかため、ぶつけ合って遊んだ。

(6) あく……テープレコーダー、あいたら使わせてください。

1 このびんのふたは、わたしの力ではあかないみたいだ。

2 週末なので、ホテルの部屋はひとつもあいていない。

3 電車のドアがあくと、乗客たちがいっせいに降りてきた。

4 あきれてしまって、あいた口がふさがらない。

(7) いっしょ……黙って借りるのは、どろぼうといっしょだよ。

1 野菜と肉をいっしょに煮ると、いい味が出る。

2 きのうは、夜おそくまで彼女といっしょだった。

3 自由とわがままをいっしょにしてはいけないと思います。

4 ドライバーはベンチといっしょにしておいてね。

(8) ふれる……ほおにふれる風が快い。

1 首相は、今日の記者会見では、経済問題にふれなかった。

2 展示してある絵には、決してふれないこと。

3 わたしは、法にふれることはなにもしていない。

4 最後の章で外国での日本研究の動向にふれておきたい。

(9) あまい……子供にあまい親が増えているようだ。

1 あまい言葉には気をつけた方がいい。

2 最近、あまくない飲み物がよく売れている。

3 どこからともなくあまい香りが漂ってきた。

4 山中先生より中村先生の方が採点があまい。

(10) かける……この作品は時間をかけてていねいに仕上げた。

1 たき火をした後、バケツで水をかけて消した。

2 新しいカーテンをかけ、壁に絵を飾った。

3 君には苦労ばかりかけてすまない。

4 あの夫婦は一人息子の結婚式にずいぶん金をかけたらしい。



問題用紙

(1996)

1級
聴解
(100点　45分)

注　意

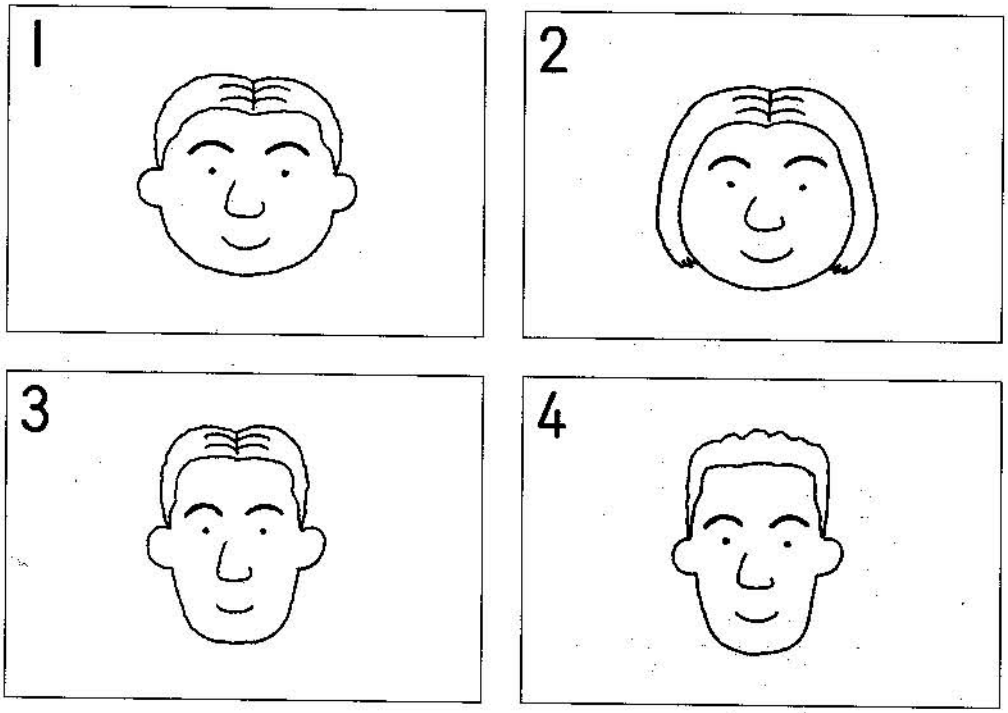
1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。
2. この問題用紙を持ち帰ることはできません。
3. 受験番号と名前を下の欄に、受験票と同じようにはっきりと書いてください。
4. この問題用紙は、全部で11ページあります。
5. テープを聞きながら、この問題用紙にメモをとってもかまいません。

受験番号　Examinee Registration Number	

名　前　Name	

問題 I

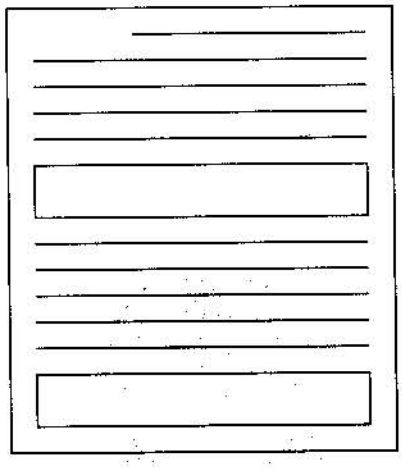
例



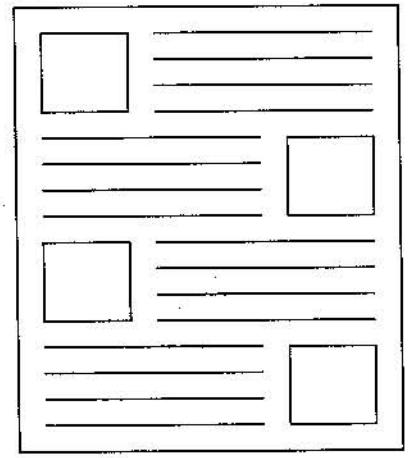
		問題 I			
例	正しい	●	②	③	④
	正しくない	①	●	●	●
1	正しい	①	②	●	④

1番

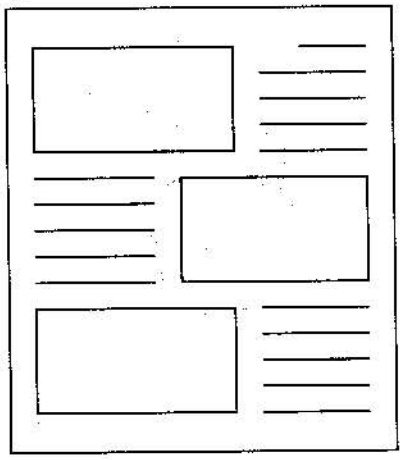
1



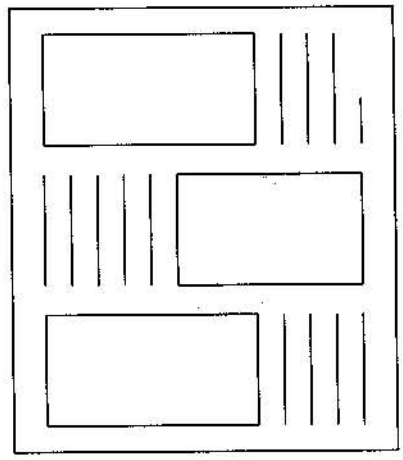
2



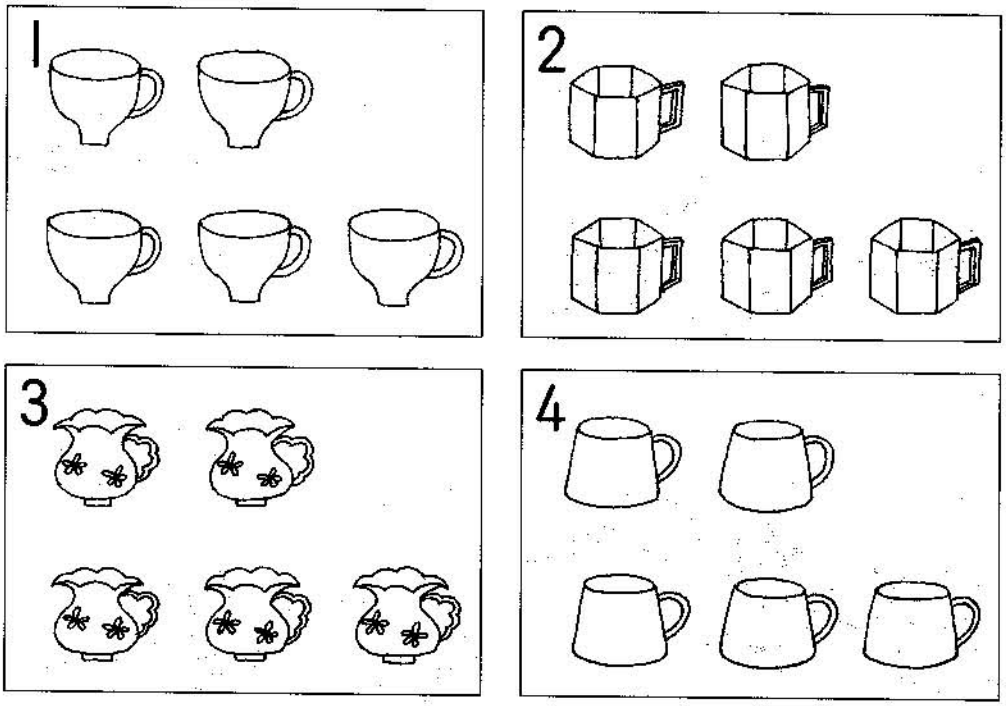
3



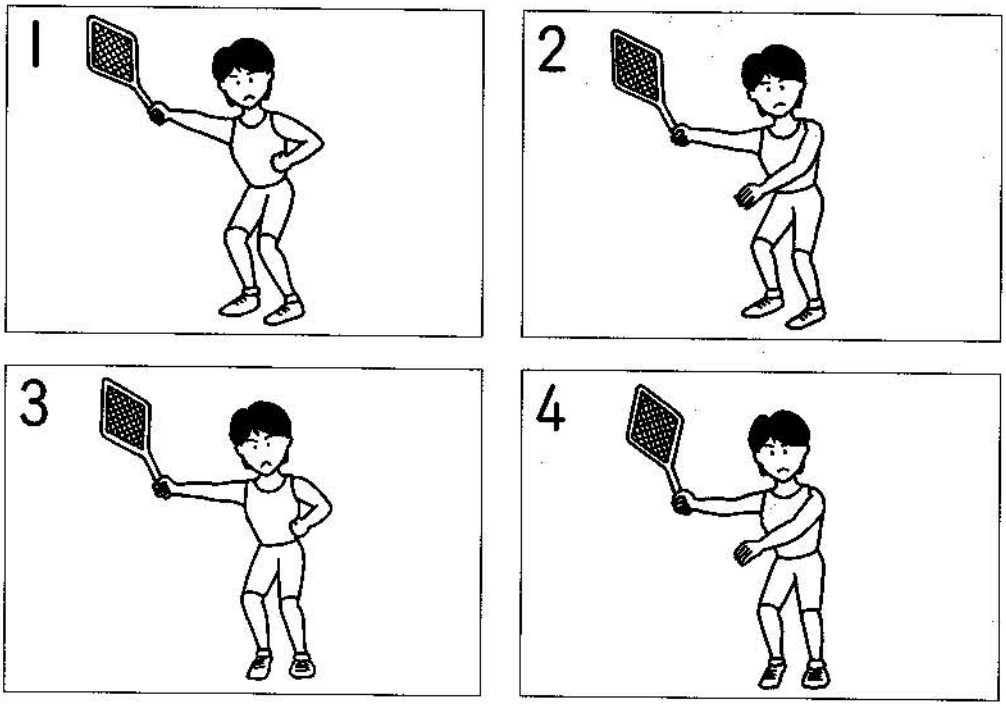
4



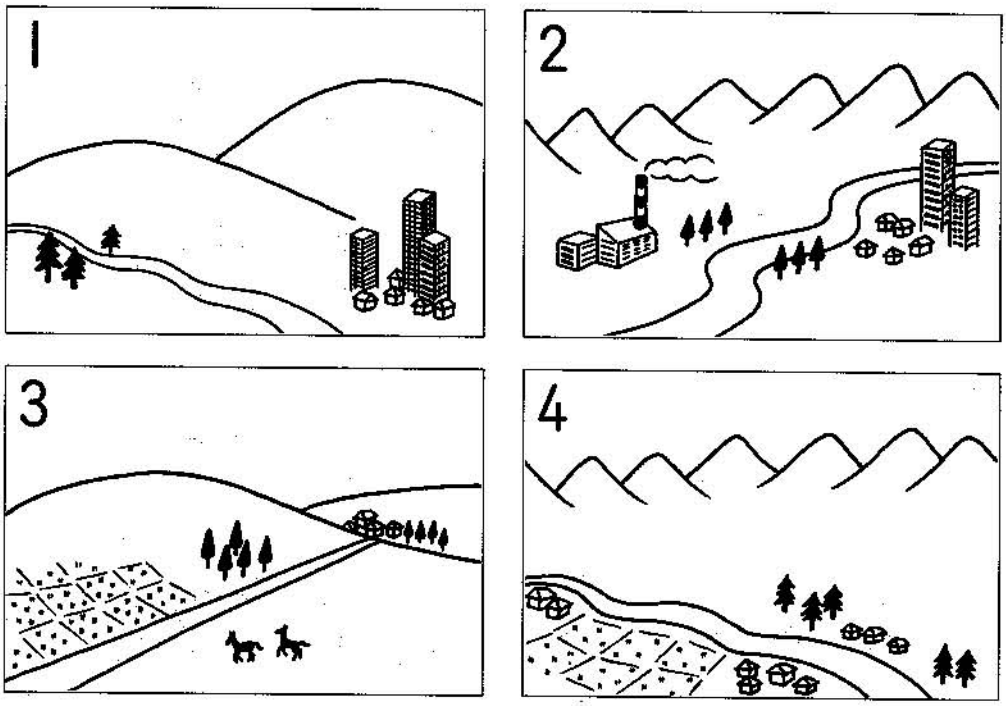
2番



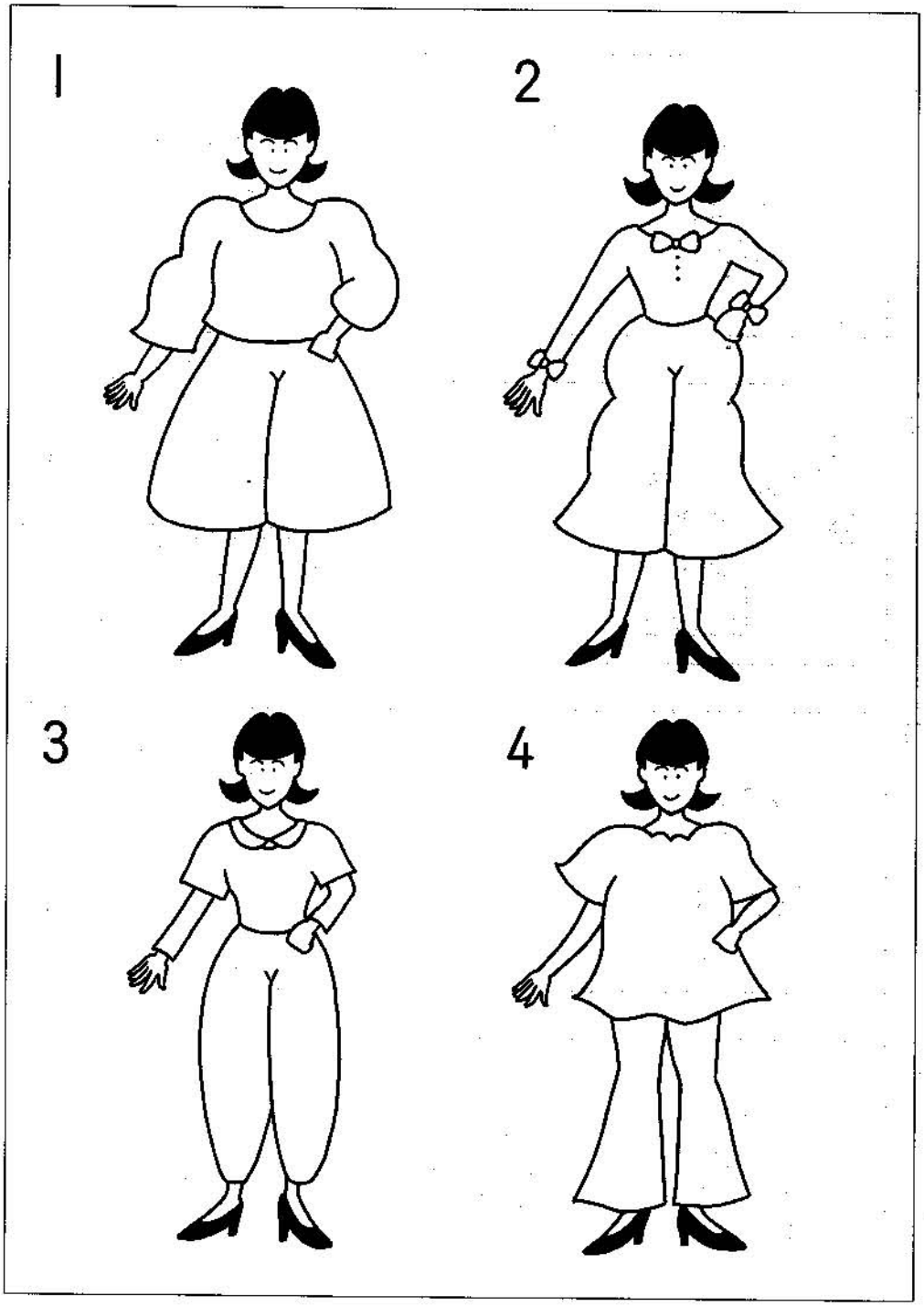
3番



4番

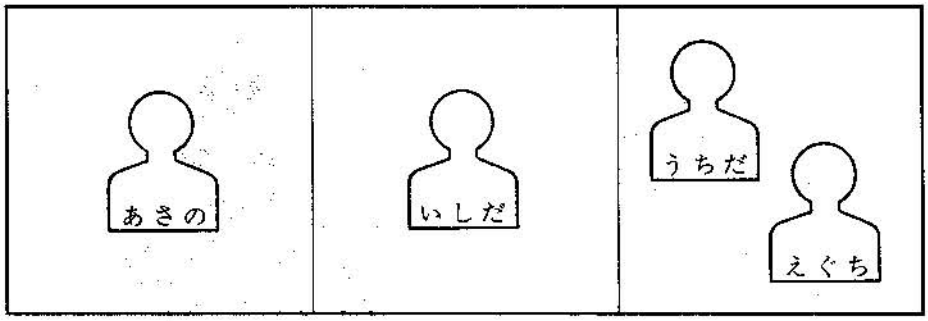


5番

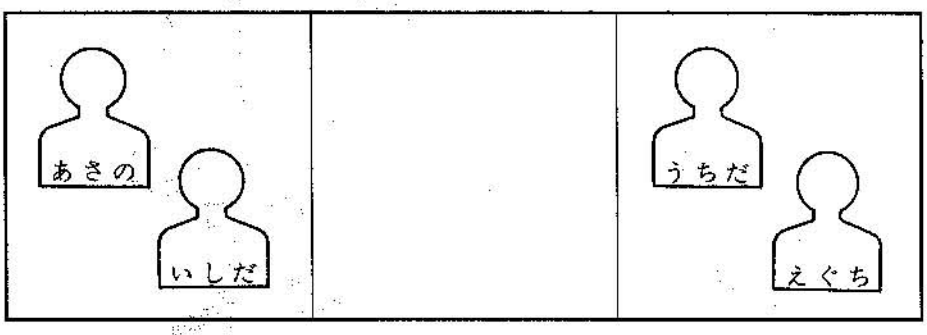


6番

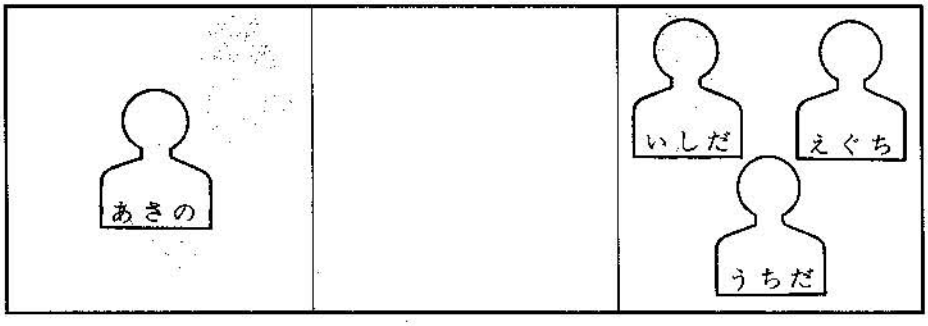
1



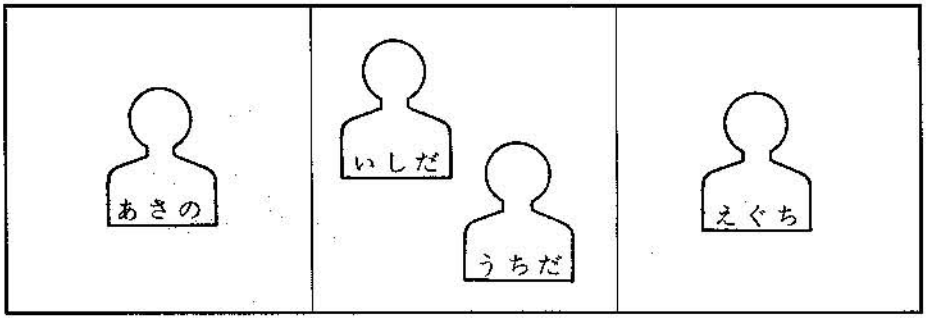
2



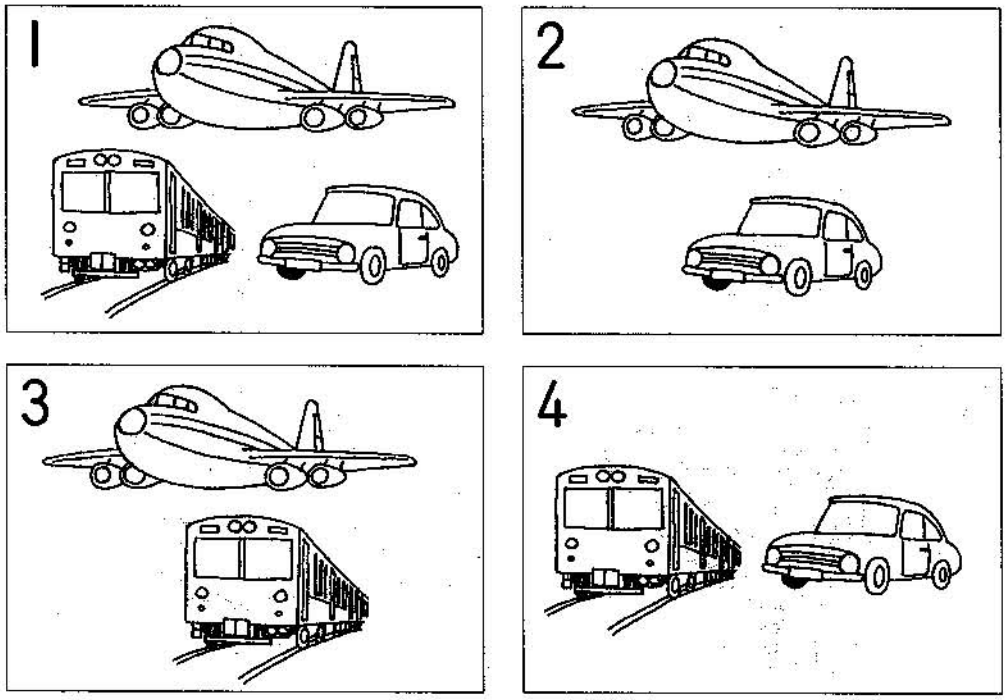
3



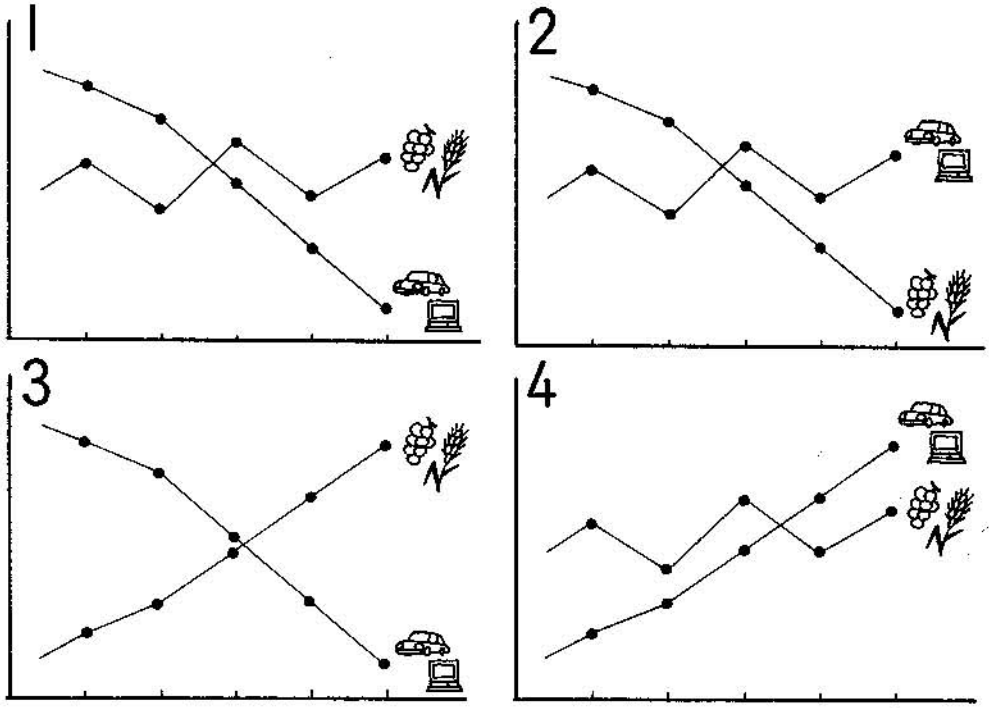
4



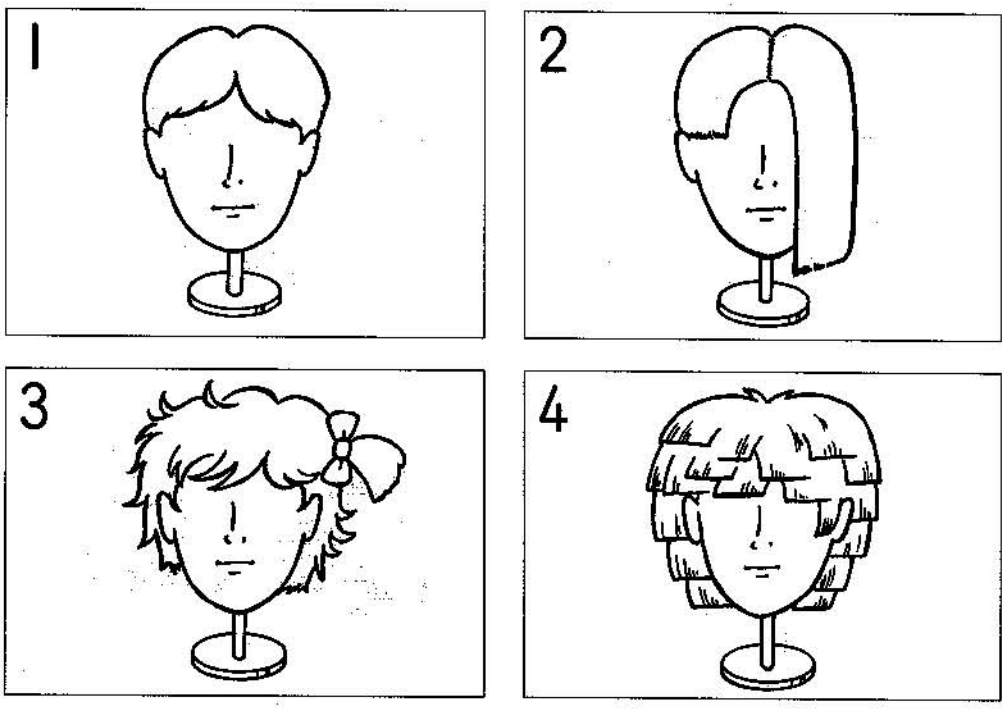
7番



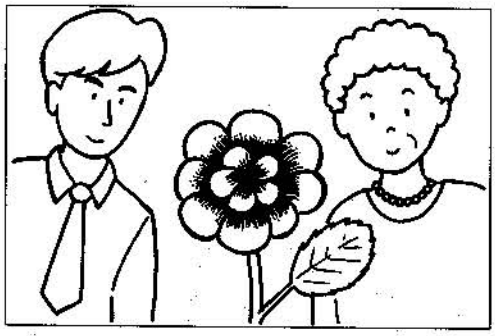
8番

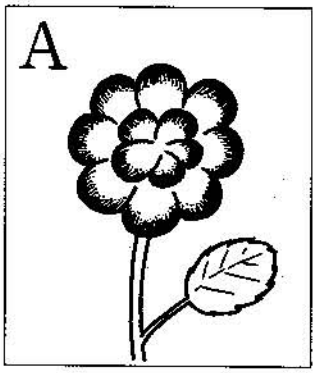


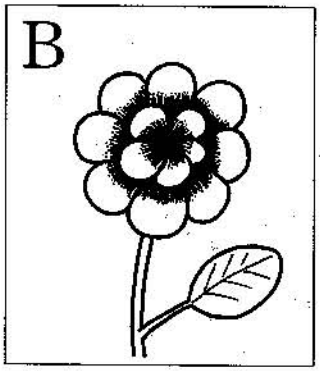
9番

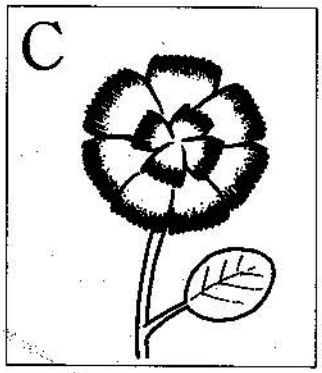


10番



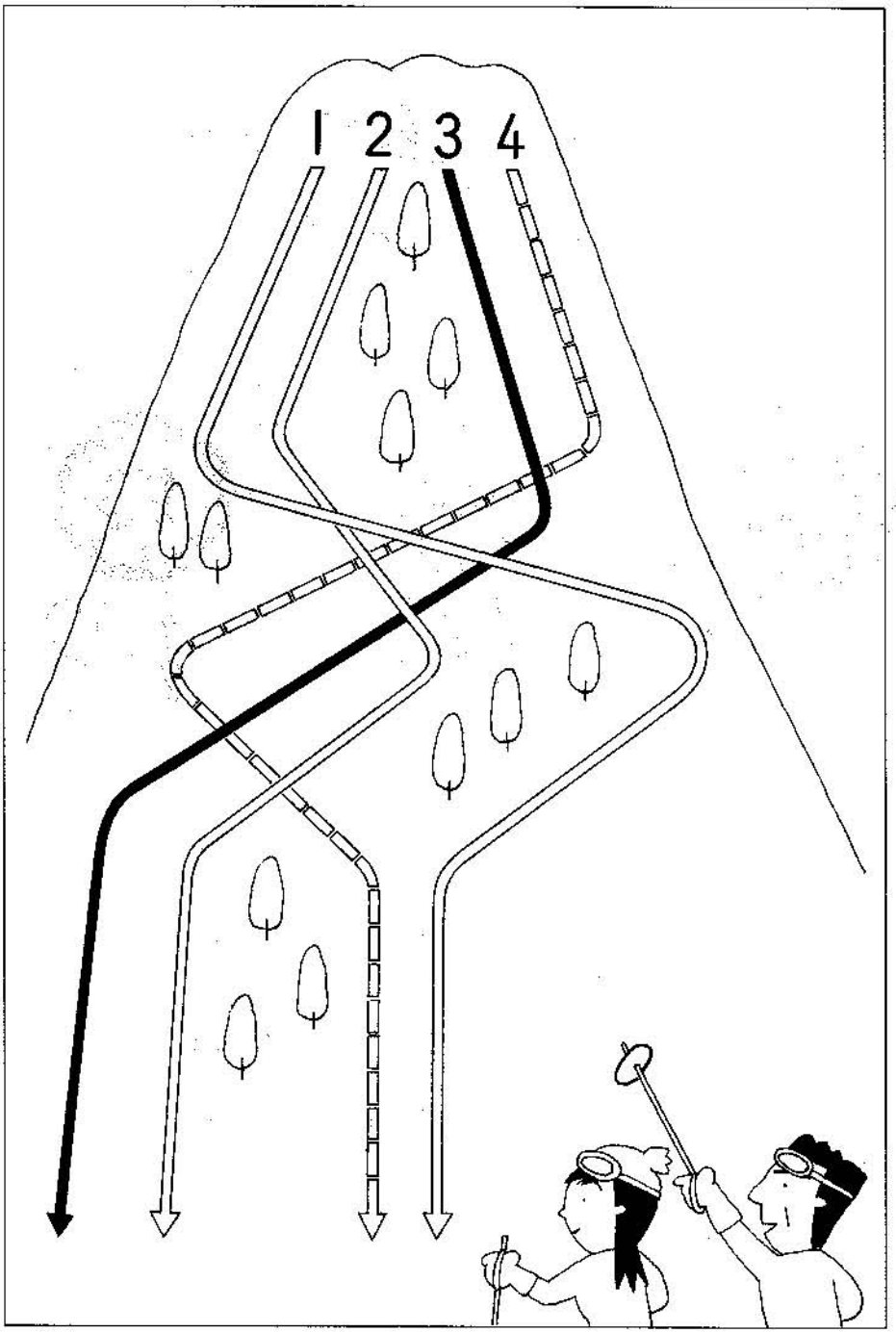






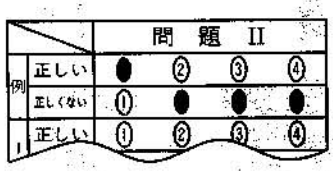
1. B → A → C
2. C → A → B
3. B → C → A
4. C → B → A

11番



問題II　絵はありません。

例



このページはメモに使ってもいいです。

問題用紙

(1996)

1級
読解・文法
(200点　90分)

注　意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。
2. この問題用紙を持ち帰ることはできません。
3. 受験番号と名前を下の欄に、受験票と同じようにはっきりと書いてください。
4. この問題用紙は、全部で17ページあります。

受験番号　Examinee Registration Number	

名 前　Name	



問題 I　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

旅に出るときカメラは一応持って行くけれど、実際に写真を写すことは少ない。

大袈裟な主義主張があるわけではないけれど、私にとってはカメラは邪魔になることのほうがはるかに多い。その理由は——

カメラを持っていると、どうしても写真が撮りたくなる。いや、撮りたくなるというより撮らなければいけないような義務感が心のなかに生ずる。

——「　A　」——

と思って感銘(注1)した次の瞬間、

——「　B　」——

そんな意識が脳裏(注2)に蠢いて、これがわずらわしい。

そればかりではない。いったんシャッターを押してしまうと、

——「　C　」——

といった気分が心を占め、眼の前の佳景(注3)をしっかりと観賞し、記憶に留めおくという作用がどうしても甘くなる。中途半端にながめて、あとは後日写真ができあがったときに委ね(注4)てしまおうという心理が働く。

これがどうも風物を観賞するうえで間違った道のような気がしてならない。

私自身が入江泰吉(注5)さんとか浅井慎平さんとか、一流カメラマン並みの撮影技術を持っているのならよいけれど、実力は安いカメラでスナップを写す程度のもの。あとでできあがった写真は絵葉書にも遠く及ばない①。結局のところ、景色をろくに見なかったこととさして(注6)変わりがない。そんなことなら初めからカメラなど当てにしないほうがいい。数年前にそう悟って、以来めったに写真を撮らなくなった。

カメラがないとなると、観賞法そのものもおのずと厳しくなる。余計なこと②を考えずにすむから、心ゆくまで賞味(注7)することができる。

しかも、これから先に述べることは自分でもはっきりと断定できない微妙な心の作用なのだが、カメラがなければまのあたりに見たことをハーフ・メードの形で文章化しておくという仕事も、無意識のうちでやってしまうようだ。

——この風景を小説の中で描写するとしたらどう書くだろうか——

頭の片すみでそう考え、完全に文章化することまではしないが、なにかしら頭の中に文章に近い形に変えて貯蔵するようになる。

ハーフ・メードというのは、その言葉の語義から言って50パーセントほど製品化することだろうから、私の場合はとてもそこまではやらないけれど、10パーセントか20パーセントくらい（　③　）を自分の表現に変えて脳裏に記録するところがあるようだ。これがあとで小説やエッセイを書くときに役に立つ。

こんな作用④は一般の人々にはあまり必要なことではあるまいが、旅先で写真を撮ることにばかり夢中になっている人を見ると、

――あんなことで風物をよく観賞することができるのだろうか――

と、不思議に思わないでもない。

（阿刀田高『左巻きの時計』新潮文庫 による）

（注１）感銘：深い感動

（注２）脳裏に蠢く：頭の中で動き出す

（注３）佳景：いい景色

（注４）委ねる：任せる

（注５）入江泰吉、浅井慎平：有名な写真家

（注６）さして：それほど

（注７）心ゆくまで：気が済むまで

問1　「　A　」「　B　」「　C　」に入る組み合わせとして、最も適当なものを選びなさい。

1　A　いい景色だなあ
　　B　うん、これでいい
　　C　ああ、そうだ。写真に写しておかなくちゃあ

2　A　ああ、そうだ。写真に写しておかなくちゃあ
　　B　いい景色だなあ
　　C　うん、これでいい

3　A　うん、これでいい
　　B　ああ、そうだ。写真に写しておかなくちゃあ
　　C　いい景色だなあ

4　A　いい景色だなあ
　　B　ああ、そうだ。写真に写しておかなくちゃあ
　　C　うん、これでいい

問2　①「遠く及ばない」とはここではどういうことか。

1　写真も絵葉書も実際の景色のすばらしさにはとてもかなわないこと
2　自分で撮った写真より絵葉書の方がはるかにすぐれていること
3　自分のカメラでは絵葉書のように遠くの景色がうまく撮れないこと
4　絵葉書よりも自分で撮った写真の方がずっと価値があること

問3　筆者は自分の撮影技術をどのように思っているか。正しいものを選びなさい。

1　カメラなど持つ資格はない。
2　それほど上手だとはいえない。
3　絵葉書の写真程度には写せる。
4　かなり高い撮影技術を持っている。



問4 ②「余計なこと」とはどのようなことか。

1 景色を十分に味わわなければならないということ

2 景色をしっかり記憶しなければならないということ

3 景色を写真に撮っておかなければならないということ

4 景色を文章で表しておかなければならないということ

問5 （ ③ ）に入る適当なことばを選びなさい。

1 写した写真

2 頭の片すみの文章

3 眼で見たもの

4 微妙な心の作用

問6 ④「こんな作用」とはどのようなことか。

1 風景をある程度文章にして記憶すること

2 風景を深く観賞し、記憶に留めること

3 風景をテーマに小説やエッセイを書くこと

4 風景の写真を撮ることに疑問を感じること

問7 筆者にとってカメラのない旅の利点は何か。

1 写真の代わりに文章の形で残るので小説などの作品がふやせること

2 無意識のうちにハーフ・メードの文章を書く技術が進歩すること

3 一流カメラマン並みに写真を撮れたかどうか心配しなくてもいいこと

4 風物を十分観賞できるうえに、ある程度文章化して記憶できること

問題Ⅱ　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

仕事のことで、あなたは同僚の村山氏に助けを求めた。村山氏は自分の仕事を犠牲にして、時間もお金も使って助けてくれた。しかし結果は、あなたの窮状(注1)をわずかに救ってくれたにすぎない。他方、あなたは小沢氏にも助けを求めた。小沢氏は電話一本で、窮状を救ってくれた。さて、あなたは二人のどちらにより強い恩義(注2)を感じるだろうか？

対人心理学では、恩義の強さはコストとあなたが得た利益で決まると考える。

コストとは、相手があなたを助けるために費やした時間やお金、もろもろの犠牲のことである。利益もお金や物とは限らない。地位や名誉、失わずにすんだ面目の場合もあるだろう。

コストや利益が何であるにせよ、恩義はコストが（　a　）ほど、また利益が（　b　）ほど、強く感じる。恩義の強さは、コストの量と利益の量の（　c　）で決まるというのである。

「恩や義理は、日本人の人間関係の根幹(注3)にかかわる問題だ。それを①コストだ利益だなどというのはけしからん」と思う人もいるだろう。（　d　）、「恩を売ったり」「借りを返したり」、見舞いの半返し(注4)(注5)をしたり……②日本人の人間関係だって意外と計算高い。

そこで、冒頭の話をこう言い換えてみよう。

村山氏の払ってくれたコストが（e）、彼がもたらした利益を（f）とすると村山氏には11の恩義が生じる。小沢氏の支払ったコストは（g）、もたらされた利益が（h）とすると小沢氏にも11の恩義が生じる。同じ値になったとき、実感として、あなたはどちらに強い恩義を感じるだろうかというのが当方(注6)の問いだったのである。

この問いに対して、アメリカの心理学者は、小沢氏の方に強い恩義を感じると言っている。結果が重要だということであろう。ところが、日本人を対象として検討したところ、〔　i　〕という結果が出た。

どうも日本人は、結果もさることながら、助けてくれるために多くのコストを支払ってくれたという事実を重んじて、恩義を感じるようである。

（相川充「ＯＬ・サラリーマン行動学⑤」1994年３月12日付朝日新聞夕刊による）

（注１）窮状：非常に困った状態

（注２）恩義：恩と義理、人から受けた親切に感謝し、いつかお礼をしなければならないと思う気持ち

(注3) 根幹(こんかん)：基本、基礎

(注4) けしからん：許せない

(注5) 半返(はんがえ)し：贈られた金や品物の半額に当たるものを相手に返すこと

(注6) 当方(とうほう)：私

問1 （ a ）（ b ）に入る言葉の組み合わせとして正しいのはどれか。

1 a 小さい b 大きい

2 a 大きい b 小さい

3 a 大きい b 大きい

4 a 小さい b 小さい

問2 （ c ）に入る最も適当な言葉はどれか。

1 割り算　　2 引き算　　3 暗算　　4 足し算

問3 ①「コストだ利益だなどという」とあるが、ここではどういうことか。

1 コストや利益はつまらないことだということ

2 コストや利益というような概念で考えること

3 コストや利益という言葉の意味を考えること

4 コストと利益のどちらが重要か考えること

問4 （ d ）に入る最も適当な言葉はどれか。

1 だから　　2 それに　　3 いわゆる　　4 しかし

問5 ②「日本人の人間関係だって意外と計算高い」とあるが、「計算高い」人間関係が存在する社会とはどのような社会か。

1 恩や義理などが計算の対象となりうるものだと考えるような社会

2 恩や義理を売ったり返したりすることで非常に金がかかるような社会

3 計算が得意か不得意かということが人間の評価と関係するような社会

4 自分の金と時間を犠牲にしてでも他人を助けようとするような社会

問6 （e）～（h）に入る数字の組み合わせとして正しいのはどれか。

1　e：1　　f：10　　g：10　　h：1

2　e：10　　f：1　　g：1　　h：10

3　e：10　　f：1　　g：10　　h：1

4　e：1　　f：10　　g：1　　h：10

問7　〔　i　〕に入る言い方として最も適当なものはどれか。

1　村山氏にはそれほど恩義を感じない

2　小沢氏にも同じくらい恩義を感じる

3　村山氏の方に強い恩義を感じる

4　小沢氏には恩も義理も感じない



問題III　次の(1) ～ (6) の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　今日ほど「労働」が見失われている時代はあるまい。働くなかで仕事や人に教えられ、あるいは人と力を合わせて働くこと、また働いた成果で社会と結ばれていることを実感し、それらによって自分の働きの意味と生きていることの意義を確かめられる、そういったことから私たちはしばらく無縁(注)でいる。「労働の喜び」といった表現がひどく古めかしく感じられるほど、「労働」は私たちの生活から遠ざかっている。

（森清『ハイテク社会と労働』岩波新書 による）

（注）無縁：関係がないこと

【問い】　「『労働』が見失われている時代」とは、どのような時代か。

1　労働する場が減って、失業が増えている時代
2　古くから社会にある仕事が忘れられている時代
3　労働することの意義が実感できなくなった時代
4　個人の楽しい生活を仕事とは分けて考える時代

(2)　コンピュータは他の機械とは本質的にちがっている。普通の機械はそれぞれ固有の目的のために作られていて、その他の目的のためには使えない。これに対して、コンピュータは計算をするだけでなく、他のいろいろな機械の働きを模擬(注)することができる。そこでコンピュータは人間の知的活動を模擬することができるのではないかと考えて、これを人工知能研究と名づけ、人間への挑戦が始まった。

（長尾真『人工知能と人間』岩波新書 による）

（注）模擬する（やや特別な使い方）：まねをする

【問い】　「人間への挑戦」というのは、どのような意味か。

1　人間の能力とどちらが優れているか競争すること
2　機械を支配する人間から自立する戦いをすること
3　人間が持つ知能の働きに近づけようとすること
4　他の機械の働きも入れて人間の能力以上になること

(3) 「太田さん、①変わりませんね」

(中略)、四年ぶりにホテルのティー・ルームでお会いした編集者のAさんからそのようにいわれた時、わたしはみた目のことをいわれたのだと思って、自然ににっこりした。

「Aさんも、お変わりありませんわ」

ダーク・グレイ(注)のスマートな背広姿は、四年前と変わりがなかったが、その髪にはいくらか白いものが目立つようになったなと思いながらそういったのである。

「いや、ちょうど十五分、遅刻したところがですよ」

Aさんは眼鏡の奥の眼をいたずらっ子の少年のように、わざと大きくしながらいわれた。私は、②しばらくの間顔を上げることができなかった。

(太田治子『気ままなお弁当箱』中公文庫 による)

(注) ダーク・グレイ：濃い灰色

【問1】 ①「変わりませんね」とあるが、Aさんは何が変わらないと言ったのか。

1 人と会うときは「お変わりありませんね」と言うこと

2 約束の時間にいつもちょうど十五分だけ遅刻するくせ

3 四年前に会ったときの見た目と今回会ったときの見た目

4 人と会うときはいつも外観のことばかり気にするくせ

【問2】 ②「しばらくの間顔を上げることができなかった」とあるが、それはなぜか。

1 Aさんのいたずらっ子の少年のような眼がとても面白かったから

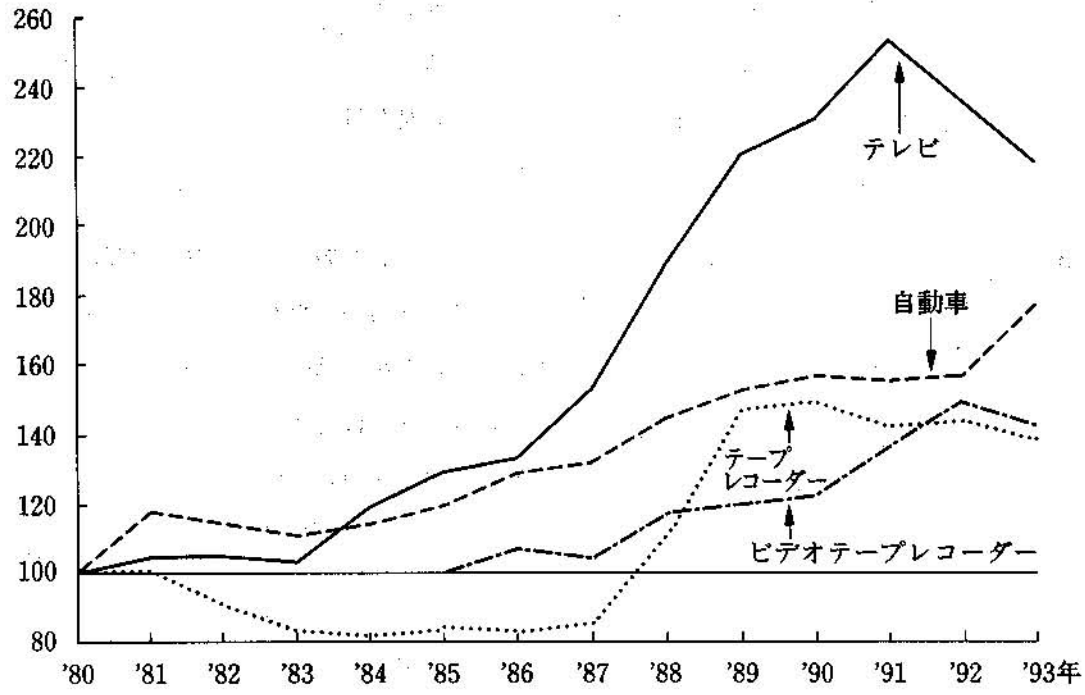
2 約束の時間に十五分も遅れたことをはずかしいことだと思ったから

3 Aさんのダーク・グレーの背広姿があまりにスマートに見えたから

4 Aさんが言った言葉を自分が誤解していたことに気がついたから

(4)　次の文章は、下のグラフを説明したものです。

日本人の日常生活で一般的に使用される電気製品や自動車の購入価格はどのように変化しているだろうか。グラフを見てその変化と理由を検討してみよう。このグラフは1980年の購入価格を100としたときの毎年の購入価格を表したものである。（　a　）は、1987年を境に購入価格が急速に上昇したが、1989年からはあまり変化していない。その理由としては1988年頃、ＣＤプレーヤーがついて価格が上がったためと考えられる。（　b　）も同様に1987年頃から大幅に価格が上昇しているが、1991年を頂点にそれ以後下降に転じている。これは大型化による価格の上昇とその後の消費者の大型離れが影響していると考えられる。1985年から統計をとり始めた（　c　）を見ると、購入価格は少しずつ上がってきたが、1992年以後、やや下降し始めている。（　d　）も、1983年から次第に上昇し、さらに1993年には大きく購入価格が伸びている。その理由は、輸入が増加したからである。



（グラフ：家計消費研究会編『家計簿からみたニッポン1994』による）

【問い】 グラフを見て、文章中の（　a　）（　b　）（　c　）（　d　）にはそれぞれ何が入るか、次の組み合わせの中で正しいものを選びなさい。

1　a：テレビ
　　b：ビデオテープレコーダー
　　c：自動車
　　d：テープレコーダー

2　a：テレビ
　　b：テープレコーダー
　　c：ビデオテープレコーダー
　　d：自動車

3　a：テープレコーダー
　　b：テレビ
　　c：自動車
　　d：ビデオテープレコーダー

4　a：テープレコーダー
　　b：テレビ
　　c：ビデオテープレコーダー
　　d：自動車

(5)　次の文は、文化の定義について述べたものである。

まず、ドイツ流の使い方では、一般に「文化」と「文明」とを区別し、文化は精神的・理想的な価値の実現としてとらえられ、哲学・宗教・科学・芸術など、民族の生みだした高度の精神的所産(注1)を、一方文明は、技術的・物質的・実際的所産を意味している。これに対して英米流の文化概念では、芸術作品など、人間の高度な精神的所産から食事作法などの日常的な生活習慣まで、きわめて包括的(注2)にとらえられている。文化と文明とを区別することもない。したがって、木皮や獣皮(注3)でつくられた腰蓑(注4)も、漱石(注5)の文学やモーツァルトの音楽も、さらには子どもの育て方や夫婦関係のあり方までもすべて文化とみなされる。したがってこの立場では、文化のない社会は考えられないし、文化をもたない人間もいないということになってくる。

(野口英子「パーソナリティ・文化・社会」、鈴木広編著『現代社会を解読する』ミネルヴァ書房 による)

(注1) 所産：何かが行われた結果、生まれでてきたもの

(注2) 包括：関係があるものを全部一つにまとめること

(注3) 獣皮：動物の皮

(注4) 腰蓑：



(注5) 漱石：明治・大正時代の文学者

【問い】　文中に述べられたドイツ流の考え方では、文化と文明はどのように分けられるか。次の中から正しいものを選びなさい。

	文　　化	文　　明
1	漱石の文学 モーツァルトの音楽	木皮や獣皮で作られた腰蓑・子どもの育て方・夫婦関係のあり方
2	木皮や獣皮で作られた腰蓑 子どもの育て方	漱石の文学・モーツァルトの音楽 夫婦関係のあり方
3	漱石の文学・モーツァルトの音楽 子どもの育て方・夫婦関係のあり方	木皮や獣皮で作られた腰蓑
4	漱石の文学・モーツァルトの音楽 夫婦関係のあり方	木皮や獣皮で作られた腰蓑 子どもの育て方

(6) 下のA～Dは、それぞれア、イ、ウ、エのどこかに入る文です。

> いままでの生物学というのは、もっぱら種レベルの生物学であった。（中略）
> では、種レベルの行動と個体レベルの行動とは、そもそものはじめから異質(注1)(注2)的なものであって、相(注3)つながらないものであろうか。

↓

（ ア ）

↓

（ イ ）

↓

（ ウ ）

↓

（ エ ）

A

> おそらく、私のこのような考えは、これをそのまま人間社会における文化現象に適用しても、あえて矛盾するところは生じてこないであろう。

B

> 私はそうばかりとは思わない。

C

> 群れをつくっているものの場合には、個体レベルの行動と種レベルの行動とのあいだに、なおもう一つ、群れレベルの行動というものを、はさむ必要があるかもしれない。

D

> はじめは個体レベルの行動として発生したものも、やがてその行動が個体間に普及して、大多数の個体に認められるようになれば、そのときはもはや個体レベルの行動でなくて、種レベルの行動といわねばなるまい。

（今西錦司『人間社会の形成』日本放送出版協会 による）

(注1) そもそも：もともと

(注2) 異質：性質が違っていること

(注3) 相つながる：互いにつながる

【問い】 正しい組み合わせのものを選びなさい。

1 ア：B イ：C ウ：A エ：D

2 ア：B イ：D ウ：C エ：A

3 ア：C イ：D ウ：B エ：A

4 ア：C イ：B ウ：A エ：D

問題Ⅳ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1) 天候に＿＿＿あすは遠足に行きます。

1　かかわらず　　2　よると　　3　よれば　　4　かかわり

(2) 子供たちは動物園に着くが＿＿＿おやつを食べだした。

1　はやいか　　2　はやるか　　3　はやくて　　4　はやめて

(3) 試験の結果を＿＿＿クラス分けを行います。

1　めぐって　　2　もとづいて　　3　かぎりにして　　4　もとにして

(4) 帰国のあいさつ＿＿＿おみやげを持って先生のお宅を訪問した。

1　がらみに　　2　かたがた　　3　かねて　　4　がために

(5) 彼は学生として許す＿＿＿行為を行ったとして退学させられた。

1　べく　　2　べき　　3　べからざる　　4　べからず

(6) 卒業生の健康と幸せを願って＿＿＿。

1　やまない　　2　そういない　　3　とまらない　　4　すまない

(7) きょうは朝からいいこと＿＿＿しあわせな気分だ。

1　ずくめで　　2　よりで　　3　あふれて　　4　かぎりで

(8) 原子力発電所の建設に＿＿＿住民との話し合いが持たれた。

1　かけて　　2　わたって　　3　あたって　　4　うけて

(9) あのレストランの料理は量＿＿＿味＿＿＿文句のつけようがない。

1　とに　　とに　　2　をよそに　　をよそに

3　をかね　　をかね　　4　といい　　といい

(10) 駅前のスーパーまで散歩＿＿＿買い物に行った。

1　がてら　　2　につれて　　3　にともなって　　4　かたわら

(11) 犯人は買い物をしていた＿＿＿警官に逮捕された。

1　ところに　　2　ところを　　3　あいだ　　4　そばから

(12) 列にわりこむなど紳士にある＿＿＿行為だ。

1 まい　2 まじき　3 らしい　4 べき

(13) ああでもない、こうでもないと迷惑をかけたあげく、あの＿＿＿。

1 かぎりだ　2 しまつだ　3 しまいだ　4 おわりだ

(14) 十代の娘じゃ＿＿＿そんなはでなリボンはつけられませんよ。

1 ありながら　2 ありそうに　3 あるまいし　4 あるほどに

(15) 風呂の水を＿＿＿出かけてしまった。

1 だしにして　2 だしっぱなしにして

3 だしつつ　4 だしおいて

(16) あの患者は重い病気のため、一人では食事＿＿＿。

1 せずにはおかない　2 せしめるほどだ

3 だにとっている　4 すらできない

(17) 今年の米は温暖な気候と適度な雨量とが＿＿＿豊作となった。

1 あざむいて　2 あいまって　3 あてがって　4 あたいして

(18) 動物保護に＿＿＿重要な環境問題について真剣に議論した。

1 まもる　2 おうじて　3 よって　4 かかわる

(19) 彼が秘密を外部にもらしたことは想像に＿＿＿。

1 こえない　2 こえる　3 かたい　4 かたくない

(20) 国防費を＿＿＿種々の予算が見直されはじめた。

1 かわきりに　2 ばかりに　3 あっての　4 みなして

(21) 任務＿＿＿あの南極で長い冬を越すのは大変なことだろう。

1 といえば　2 とばかりに　3 とはいえ　4 ともなく

(22) 今回の出版に関してご配慮をたまわり感謝に＿＿＿。

1 たえません　2 やむをえません

3 こたえません　4 そえません

問題V　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1) 他の人にとって厳しいトレーニングでも、あの運動は山田さんにとってはちょうどいい散歩＿＿＿。

1　といえばこそだ　　2　といったかもしれない
3　といったところだ　　4　というにはあたらない

(2) 彼女の今までの苦労を知っているので、留学が決まった時あれほど喜んだ気持ちが＿＿＿。

1　わからなかった　　2　わからないでもない
3　わかるものではない　　4　わかったものではない

(3) あの作家は天才なのだから、わずか三日で傑作を書いたからといって、驚く＿＿＿。

1　にはあたらない　　2　べきことだ
3　にきまっている　　4　にちがいない

(4) 毎日遅刻せずに会社に来るとはいえ、その仕事ぶりは＿＿＿。

1　ひどいはずがない　　2　ひどいわけではない
3　ひどくはなかった　　4　ひどいといったらない

(5) 話をおもしろくするためだろうか、あの人はものごとを大げさに言う＿＿＿。

1　きらいがある　　2　きらいではない
3　きらいらしい　　4　きらいがない

(6) 勉強よりまず健康のことを考えるべきだ。試験に合格しても、病気になってしまったら＿＿＿。

1　それまでだ　　2　それからだ
3　それほどだ　　4　それのみだ

(7) 息子は一流の音楽家になるといって家を出た。大変だが、きっと目的を達成せずには＿＿＿。

1　おいてあった　　2　おくことはない
3　おかないだろう　　4　おくべきでない

問題Ⅵ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　雨が激しく降り始め、あたりが暗くなってきた。道路はすべりやすく、プロのドライバーでも運転が難しい状況だった。この悪条件を＿＿＿、参加者全員がみごとにゴールインした。

1　ものともせず　　2　ものとして

3　ものならず　　4　ものながら

(2)　私はお茶が好きで、毎日朝起きてまずお茶を飲む。これはずいぶん昔から習慣になっている。お茶＿＿＿一日が始まらない。

1　なければ　　2　なしには

3　ないので　　4　ないのに

(3)　子供の頃、私は父によく「勉強をしろ」とか「きちんとあいさつをしろ」とか言われた。それに反発していたが、年をとるに＿＿＿私も同じことを自分の子供に言うようになってきた。

1　ひきかえ　　2　そって

3　つれて　　4　しても

(4)　今度のコンサートで演奏する曲には高度な技術が要求される。何か月も準備してきたからには、失敗＿＿＿と思うが、それでもやはり不安が残る。

1　せずにはいられない　　2　せざるをえない

3　するかもしれない　　4　するはずはない

(5)　人はいつも勇気をもてという。しかしおくびょうではいけないのだろうか。おくびょうで＿＿＿、用心深くなり、危険を避けることができるのだ。

1　ありえず　　2　あるがまま

3　あればこそ　　4　あってさえ

(6)　あの名人も初めからこんなに仕事ができたわけではない。若いころは、先輩のやることを見て、できない＿＿＿そのまねをしていたのだった。

1　ながらも　　2　つつも

3　たりとも　　4　からでも

問題用紙

(1996)

2 級
文字・語彙
(100点　35分)

注　　意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。
2. この問題用紙を持ち帰ることはできません。
3. 受験番号と名前を下の欄(らん)に、受験票と同じようにはっきりと書いてください。
4. この問題用紙は、全部で7ページあります。

受験番号　Examinee Registration Number	

名 前　Name	

問題 I　次の文の下線をつけたことばは、どのように読みますか。その読み方をそれぞれの 1・2・3・4から一つ選びなさい。

問 1　すべての国民は教育を受ける(1)権利(2)があると憲法(3)に書かれている。

(1) 受ける	1	うける	2	とどける	3	つづける	4	さける
(2) 権利	1	がんり	2	かんり	3	げんり	4	けんり
(3) 憲法	1	けんぽう	2	けんぼう	3	けんほう	4	けんぽ

問 2　彼の専攻(せんこう)分野(1)は社会人類学(2)で、社会に見られるさまざまな日常(3)の現象(4)についての論文(5)を書いている。

(1) 分野	1	ぶんの	2	ぶんや	3	ふんの	4	ふんや
(2) 人類学	1	じんるいがく	2	じんぬいがく	3	にんるいがく	4	にんぬいがく
(3) 日常	1	にっちょ	2	にっちょう	3	にちじょ	4	にちじょう
(4) 現象	1	げんしょう	2	げんじょう	3	げんそう	4	げんぞう
(5) 論文	1	ろうぶん	2	ろんぶん	3	ろうもん	4	ろんもん

問 3　かがみに映った(1)顔は左右(2)が逆(3)になる。

(1) 映った	1	ひかった	2	うつった	3	てった	4	はった
(2) 左右	1	さう	2	さゆ	3	さよう	4	さゆう
(3) 逆	1	きゃく	2	きょく	3	ぎゃく	4	ぎょく

問 4　山に囲まれた(1)この小さな村では、農業(2)を手伝ってくれる若者を募集(3)している。

(1) 囲まれた	1	つつまれた	2	はさまれた	3	かこまれた	4	つかまれた
(2) 農業	1	のぎょう	2	のうぎょう	3	のんぎょう	4	のうぎょ
(3) 募集	1	もうしゅう	2	もしゅう	3	ぼっしゅう	4	ぼしゅう

問5 男女<u>平等</u>(1)をテーマにした会議が開かれ、<u>各国</u>(2)の<u>代表</u>(3)が<u>出席</u>(4)して、<u>家庭</u>(5)や<u>職場</u>(6)で起こっている問題を話し合った。

(1)	平等	1	へいとう	2	へいどう	3	びょうとう	4	びょうどう
(2)	各国	1	かっこく	2	かっくに	3	こっこく	4	こっくに
(3)	代表	1	だいぴょう	2	たいぴょう	3	だいひょう	4	たいひょう
(4)	出席	1	しゅせい	2	しゅせき	3	しゅっせい	4	しゅっせき
(5)	家庭	1	やてい	2	かてい	3	やけい	4	かけい
(6)	職場	1	しょくば	2	しょくじょう	3	しきば	4	しきじょう

問題II　次の文の下線をつけたことばは、どのような漢字を書きますか。その漢字をそれぞれの1・2・3・4から一つ選びなさい。

問1　ガラスのはへん(1)でゆび(2)にけがをして、ほうたいをまいて(3)もらった。

(1)	はへん	1	破片	2	歯片	3	葉片	4	波片
(2)	ゆび	1	鼻	2	肩	3	指	4	腕
(3)	まいて	1	回いて	2	曲いて	3	舞いて	4	巻いて

問2　八十さい(1)のそふ(2)は、毎朝近くのこうえん(3)を散歩する。

(1)	さい	1	栽	2	歳	3	裁	4	蔵
(2)	そふ	1	祖父	2	租父	3	粗父	4	組父
(3)	こうえん	1	郊遠	2	郊園	3	公遠	4	公園

問3　首都の人口はきゅうそく(1)にぞうか(2)し、20せいき(3)の終わりまでに一千万人にたっする(4)だろうと言われている。

(1)	きゅうそく	1	急足	2	急速	3	急測	4	急息
(2)	ぞうか	1	層加	2	憎加	3	贈加	4	増加
(3)	せいき	1	西紀	2	星紀	3	世紀	4	省紀
(4)	たっする	1	達する	2	到する	3	徹する	4	接する

問4　こうつう(1)規則にいはん(2)すると、運転めんきょ(3)をとりあげられる(4)こともある。

(1)	こうつう	1	向通	2	広通	3	互通	4	交通
(2)	いはん	1	異反	2	以反	3	違反	4	位反
(3)	めんきょ	1	免共	2	免教	3	免許	4	免居
(4)	とりあげられる	1	取りあげられる			2	採りあげられる		
		3	盗りあげられる			4	捕りあげられる		

問 5　夏は水の(1)じょうはつがはやいので、ぬれたタオルもすぐ(2)かわいてしまう。

(1)	じょうはつ	1	上発	2	蒸発	3	昇発	4	消発
(2)	かわいて	1	乾いて	2	渇いて	3	焼いて	4	干いて

問 6　森林の(1)げんしょうによって、地球全体の(2)きこうが(3)しだいに(4)へんかしてきた。

(1)	げんしょう	1	減少	2	減小	3	限少	4	限小
(2)	きこう	1	気構	2	気降	3	気候	4	気効
(3)	しだいに	1	次第に	2	次題に	3	次待に	4	次退に
(4)	へんか	1	変可	2	変果	3	変化	4	変仮



問題III　次の文の＿＿＿の部分に入れるのに最も適当なものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1) 商品の質を＿＿＿するために、さまざまな保存技術が研究されている。
1 連続　2 維持　3 普及　4 催促

(2) あなたの言うことは、私にはわがままだと＿＿＿。
1 生じられる　2 報じられる　3 信じられる　4 感じられる

(3) 兄は、入社してから、ずっと人事課に＿＿＿いる。
1 対して　2 面して　3 属して　4 適して

(4) 子供は熱を出すし、冷蔵庫はこわれるし、先週は本当に＿＿＿目にあった。
1 おしい　2 まずい　3 のろい　4 ひどい

(5) 信号が青になって、止まっていた車が＿＿＿走り出した。
1 いっそうに　2 いっぱんに　3 いっせいに　4 いったんに

(6) 病気で入院したのを＿＿＿に、たばこをやめることにした。
1 きっかけ　2 はじめ　3 おかげ　4 こころあたり

(7) 初めて降りた駅で＿＿＿していたら、知らない人が親切に案内してくれた。
1 ぶつぶつ　2 まごまご　3 はきはき　4 もともと

(8) この法律は、学者によって＿＿＿がちがっている。
1 解散　2 解決　3 解放　4 解釈

(9) 読書とは、＿＿＿心に栄養を与えることだ。
1 いわば　2 いわゆる　3 たとえ　4 たいして

(10) ゆうべ遅くまで起きていたので、授業中に＿＿＿をしてしまった。
1 しゃっくり　2 めまい　3 はきけ　4 いねむり

(11) 医者に、太りすぎだから＿＿＿の高くない食事をしろと言われた。
1 カロリー　2 ナンバー　3 サービス　4 アイデア

(12) _____期間で日本語が上手になる方法はありませんか。

1 前　　2 小　　3 短　　4 半

(13) 寝る前に、明日持っていくものを_____かばんの中に入れておきなさい。

1 そなえて　　2 そろえて　　3 たくわえて　　4 たとえて

(14) 長い間_____しておりますが、お元気でいらっしゃいますか。

1 ごぶさた　　2 いたずら　　3 おじぎ　　4 ちょうだい

(15) あの人は、同僚(どうりょう)と_____を起こすのを恐れて、自分の意見を言わないことが多い。

1 競争(きょうそう)　　2 健闘(けんとう)　　3 摩擦(まさつ)　　4 損害(そんがい)

問題IV　次の(1)から(10)は、ことばの意味や使い方を説明したものです。その説明にあうことばを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　こわい顔をしてじっと見る。

1　なでる　　2　にらむ　　3　どなる　　4　のぞく

(2)　目を開けていられないほど光が強いようす。

1　まぶしい　　2　すっぱい　　3　しつこい　　4　めでたい

(3)　適当な程度をこえてしまうこと。

1　ストップ　　2　マイナス　　3　オーバー　　4　ドライブ

(4)　紙や布などを折って重ね、小さくまとめる。

1　くるむ　　2　たたむ　　3　ねじる　　4　ちぎる

(5)　言っていることの意味がはっきりしないようす。

1　あいまい　　2　からっぽ　　3　さかさま　　4　そっくり

(6)　いじわるな言い方で間接的に批判(ひはん)すること。

1　気(き)の毒(どく)　　2　物騒(ぶっそう)　　3　欲張(よくば)り　　4　皮肉(ひにく)

(7)　めんどうだと思って、仕事などをしないでいる。

1　もうける　　2　なまける　　3　ためらう　　4　ふるまう

(8)　性格や態度(たいど)が明るいようす。

1　おだやか　　2　さわやか　　3　ほがらか　　4　にぎやか

(9)　細かい作業が上手にできるようす。

1　謙虚(けんきょ)　　2　懸命(けんめい)　　3　貴重(きちょう)　　4　器用(きよう)

(10)　通勤や通学をする人で交通機関が混雑する時間。

1　ラッシュアワー　　2　オートメーション

3　スケジュール　　4　プラットホーム

問題用紙

(1996)

2級

聴解

(100点　40分)

注　意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。
2. この問題用紙を持ち帰ることはできません。
3. 受験番号と名前を下の欄(らん)に、受験票と同じようにはっきりと書いてください。
4. この問題用紙は、全部で8ページあります。
5. テープを聞きながら、この問題用紙にメモをとってもかまいません。

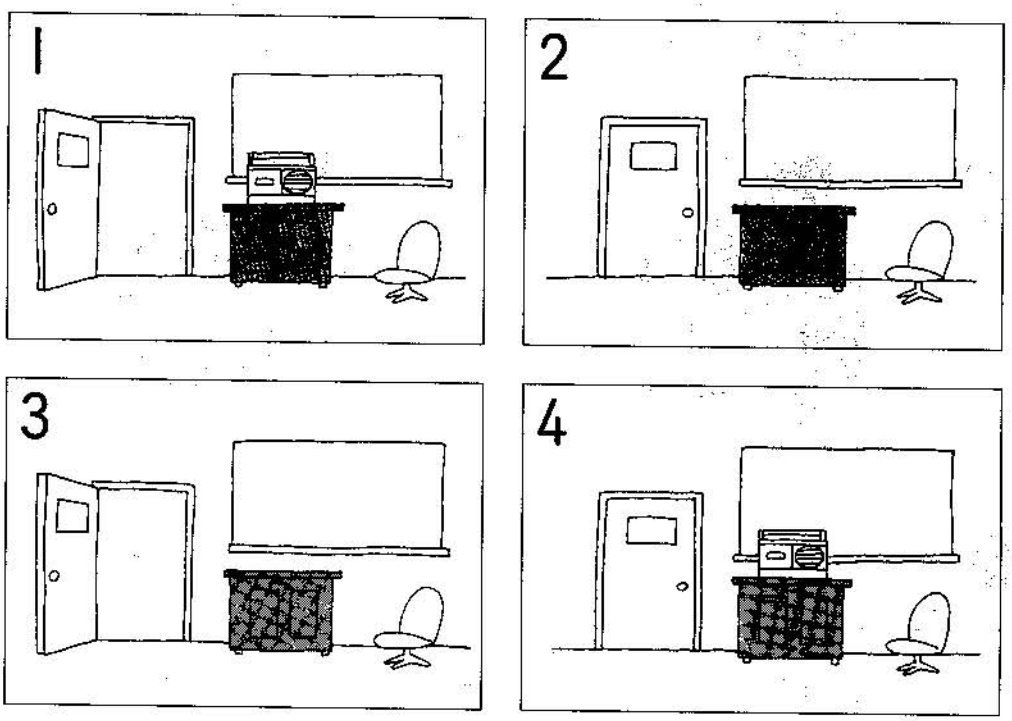
受験番号　Examinee Registration Number	

名　前　Name	



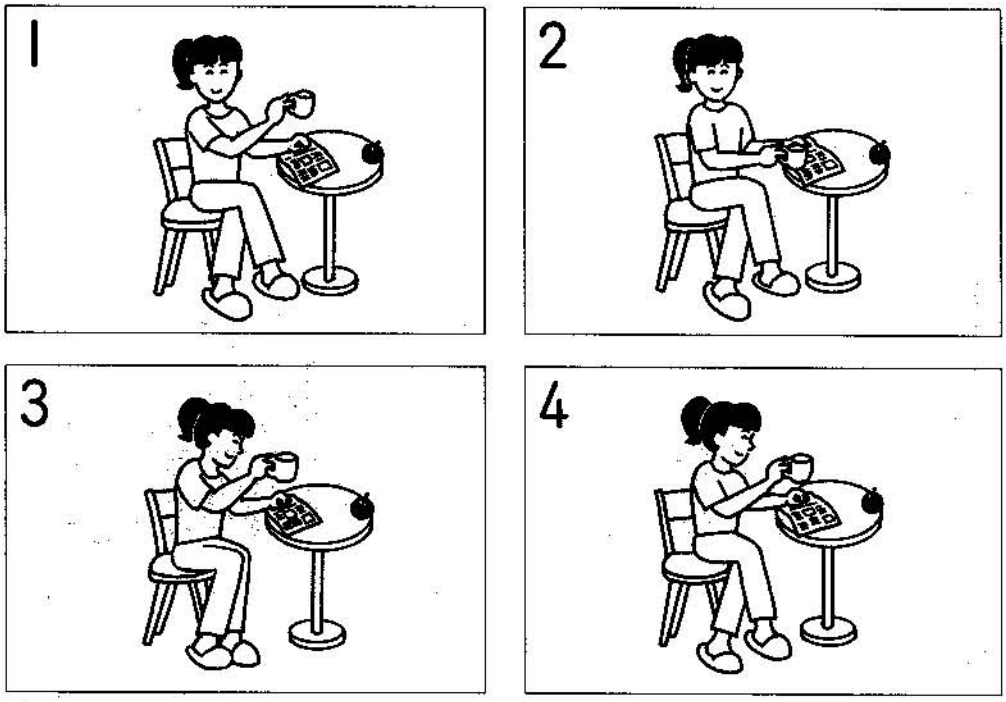
問題 I

例

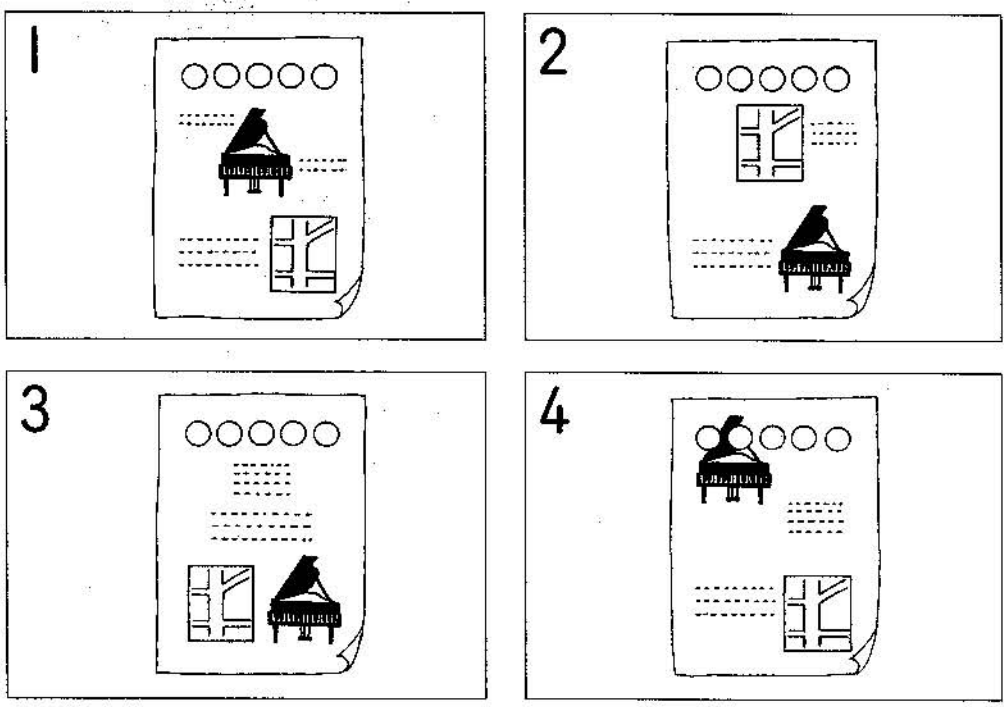


		問題 I			
例	正しい	●	②	③	④
	正しくない	①	●	●	●
1	正しい	①	②	③	④

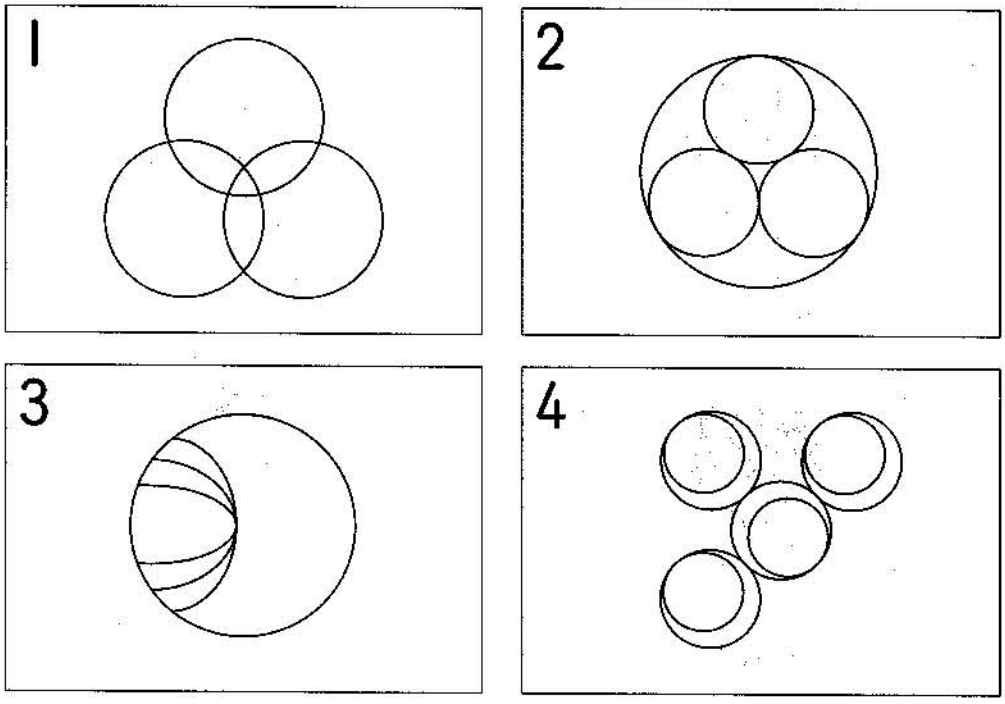
1番



2番



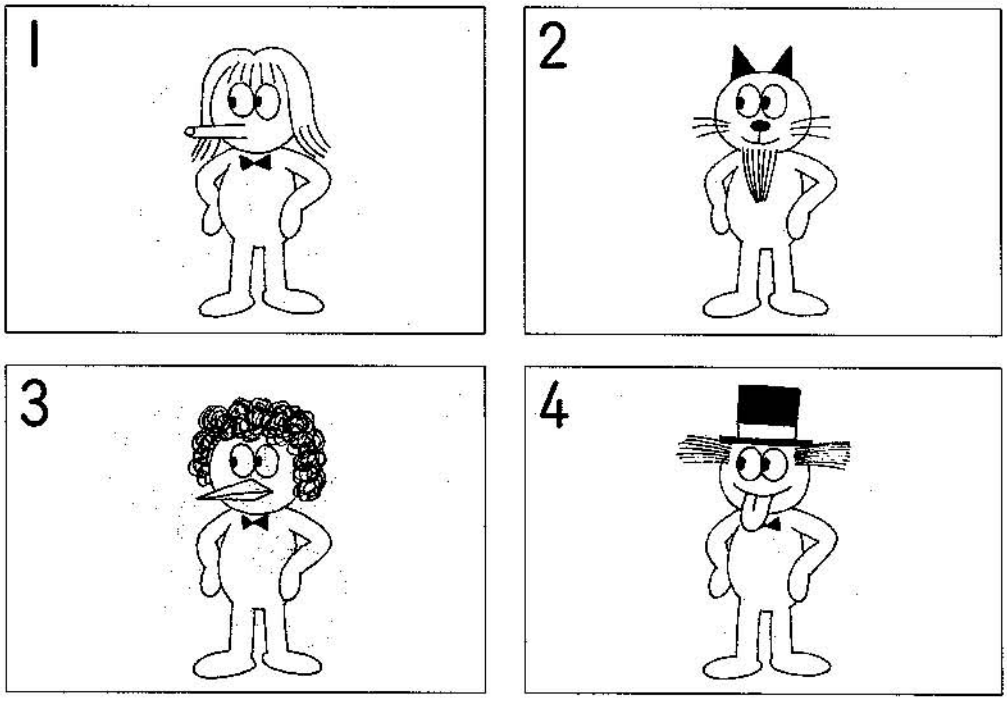
3番



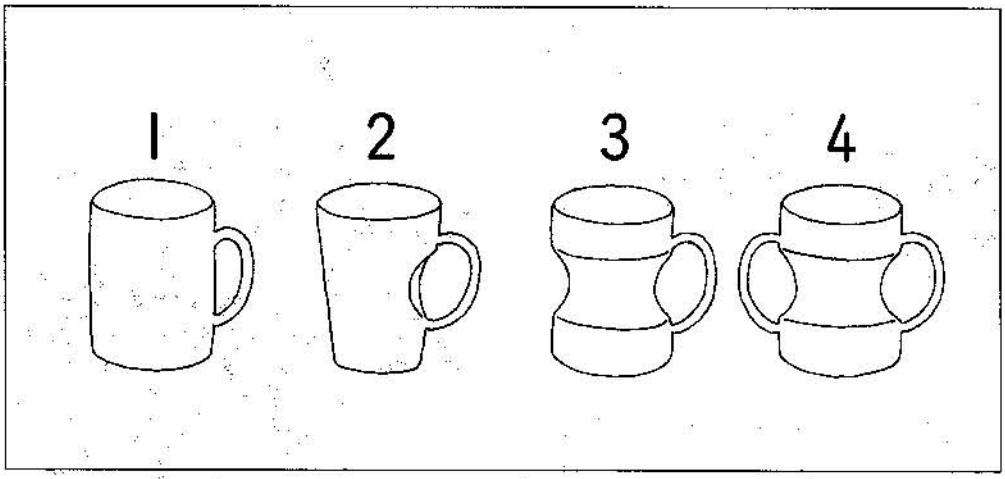
4番



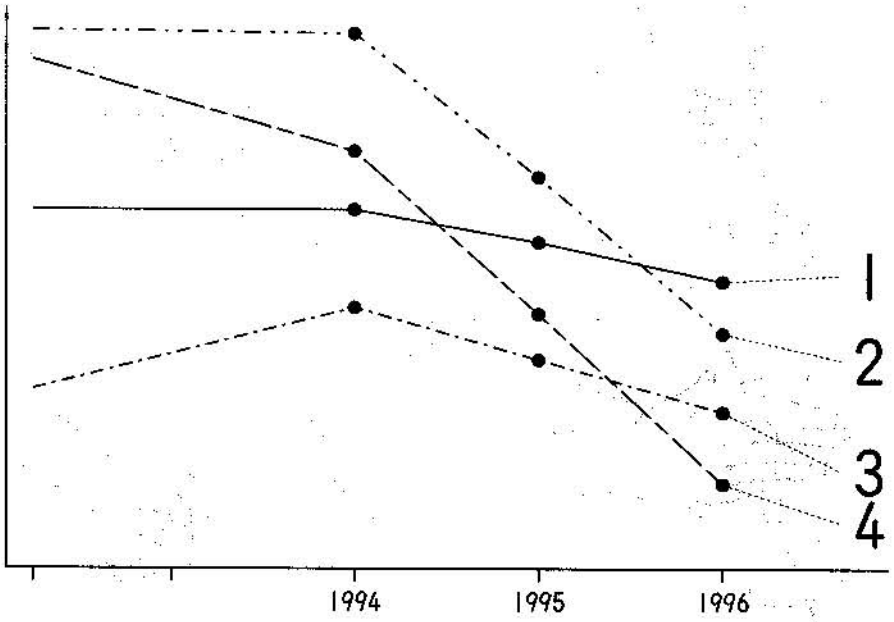
5番



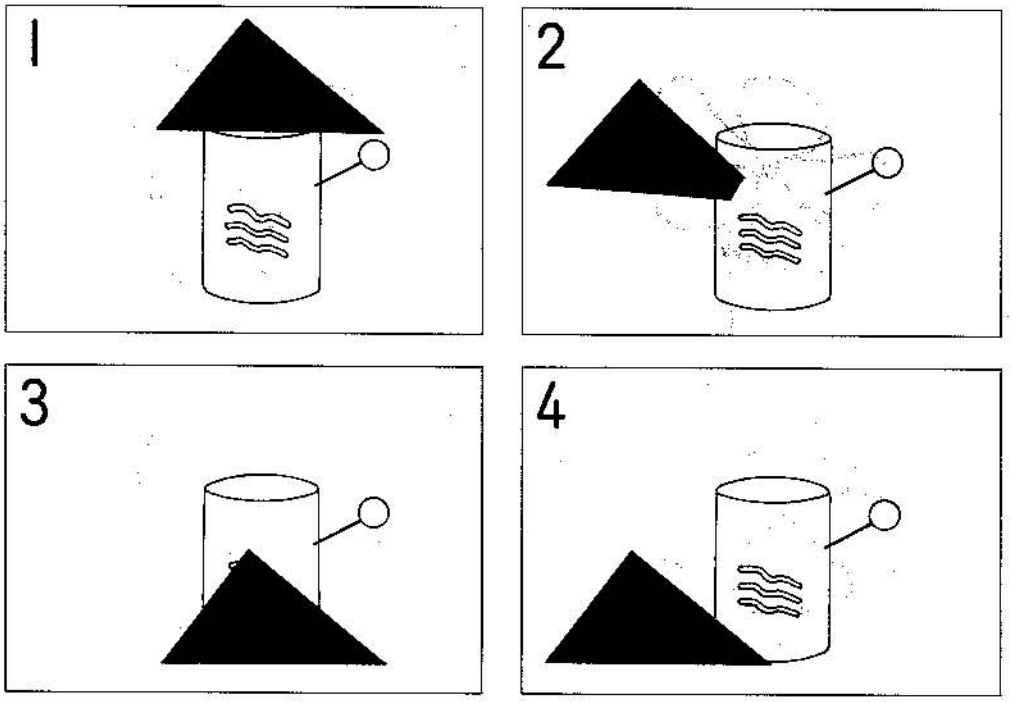
6番



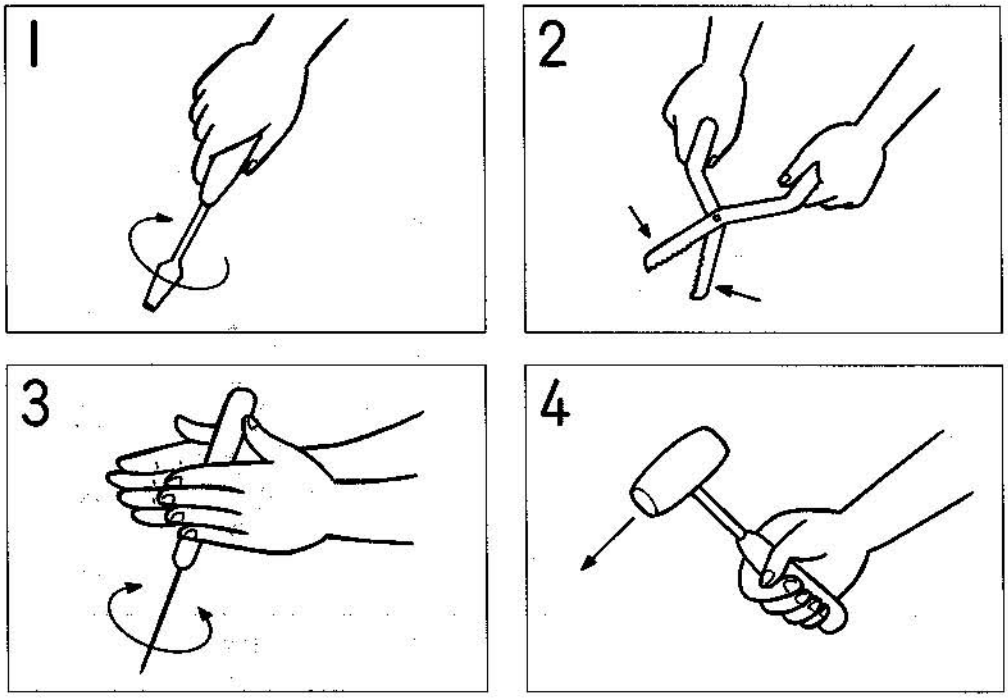
7番



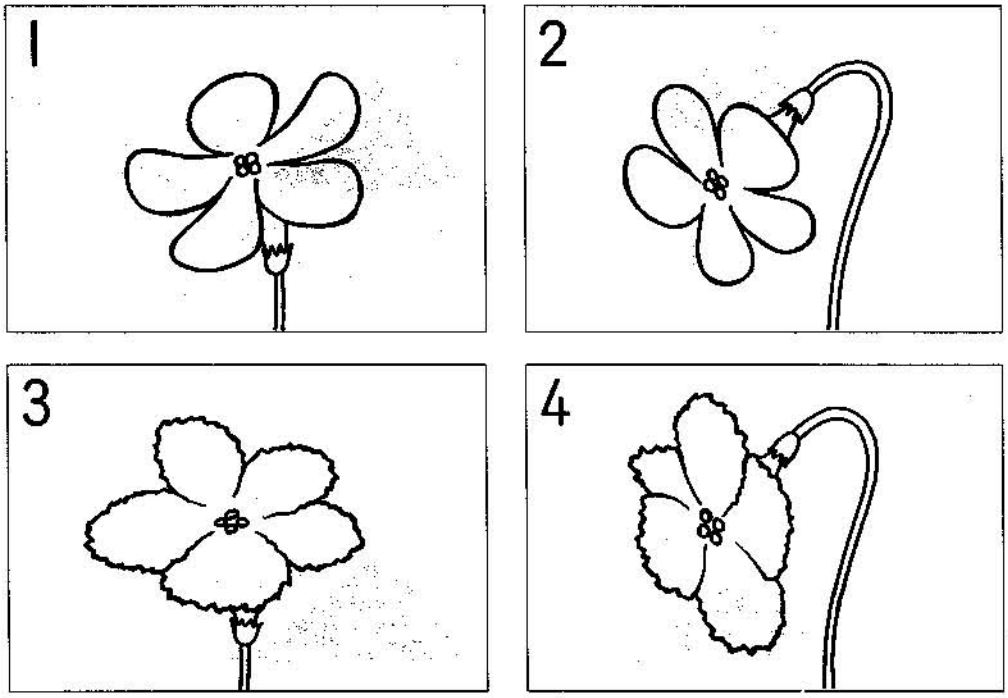
8番



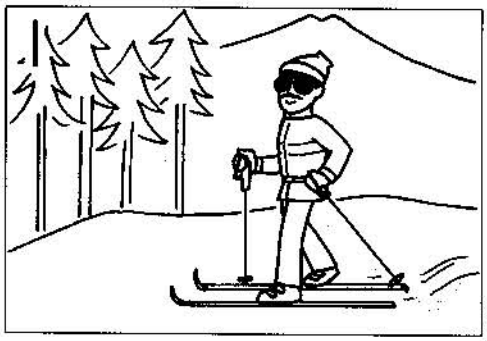
9番



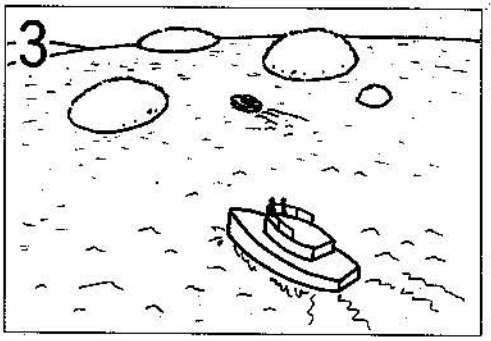
10番

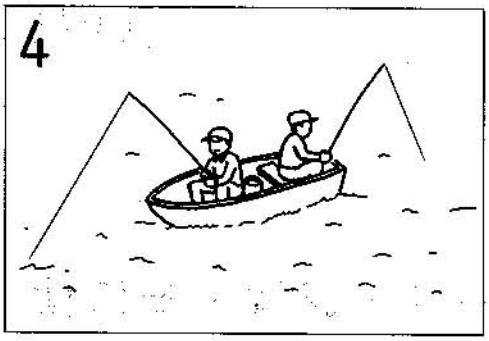


11番



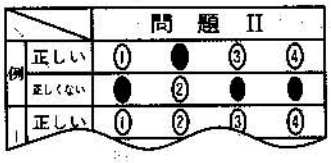






問題II　絵はありません。

例



このページはメモに使ってもいいです。



問題用紙

(1996)

2 級
読解・文法
(200点　70分)

注　　意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。
2. この問題用紙を持ち帰ることはできません。
3. 受験番号と名前を下の欄(らん)に、受験票と同じようにはっきりと書いてください。
4. この問題用紙は、全部で17ページあります。

受験番号　Examinee Registration Number	

名 前　Name	

問題Ⅰ　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

ひとりの子どもの話です。

仕事で疲れ切って、家ではごろごろ(注1)してテレビばかりを見ている父親はあまり存在感がない、まるで透明人間みたいだ、という子の文章がありました。

これ①ではいけない。子どもたちに、父親が働いている姿を見せたらどうか。そういう意見もあって、ある母親は子どもを連れて、父親が働く工場へ行くのです。

その子が参観(注2)の記を書きました。

「友だちのおとうさんが、どこかの課長さんだとか、放送局につとめているとかいうとき、私はいつもだまっていました。『わたしのおとうさんは工場のコックさんだ』というのが、なんだかはずかしくてならなかった②のです。でも、わたしは、きょうからそれが（　③　）いえるような気がします」

その子は初めて、白いコック帽をかぶった父親の働いている姿を見ます。野菜サラダを作っている。びっくりするほど早い手つき(注3)でてきぱき(注4)と仕事をすすめている。

「今まで、あんなおとうさんを見たことがありませんでした。何かよその人のような気がするくらい④でした。でも、やっぱりわたしのおとうさんでした。おとうさんは、はずかしそうな顔などちっともしていません。わたしだけが、なんではずかしがっていたのかと思うと、なんかわるい⑤ことをしていたような気がしました」

お昼のサイレンが鳴る。大勢の工員さんたちが集まる。「大勢の工員さんたちが、待ちかまえ(注5)ていたように食べているのを観ると、わたしまでなんだかうれしくなりました。みんな⑥残さず食べてもらえるかと、じっとそれを見ていました」

現場を踏んだことで、子どもの父親観(注6)が変わるのです。みんなが残さずに食べてくれるだろうか。そう思ってじっと見ている子の心臓の音が伝わってきます⑦。「お父さんの働く場所」という現場で、子どもは家にいる父親とは別の父に出あうことができたのです。

（辰濃和男『文章の書き方』岩波新書 による）

（注1）ごろごろする：特に仕事もしないで過ごす

（注2）参観の記：見学したときのことを書いた文章

（注3）手つき：手の動かし方

（注4）てきぱきと：適切にどんどん仕事を進めていく様子

（注5）待ちかまえる：すぐに対応できる姿勢で待つ

（注6）父親観：父親についての見方

問1 ①「これ」は、何を指すか。

1 父親が家でテレビばかり見ていること

2 父親が仕事で疲れ切っていること

3 子どもが父親の存在を感じないこと

4 子どもが父親の働く工場へ行くこと

問2 ②「はずかしくてならなかった」のは、なぜか。

1 テレビばかり見ている父親に料理ができるとは思えなかったから

2 コックさんなのに、家では疲れていて全然料理をしようとしないから

3 コックさんといっても、放送局ではなくて工場のコックさんだから

4 友だちに言えるような立派な仕事を父親がしているとは思えなかったから

問3 （ ③ ）に入る適当なことばを選びなさい。

1 平気で

2 ますます

3 がんばれば

4 じょうずに

問4 ④「よその人のような気がするくらいでした」とあるが、それはなぜか。

1 家で何もしない父親が生き生きと仕事をしていたから

2 子どもが来たのに父親が無視して仕事をしていたから

3 父親が会社の課長か放送局の人間のように見えたから

4 父親に白いコック帽があまり似合っていなかったから

問5 ⑤「わるい」というのはここではどんな意味か。

1 友だちに対してずるい

2 父親に感謝したい

3 友だちに対してひきょうだ

4 父親にもうしわけない

問6 ⑥「みんな」は何を指すか。

1 工員さんたち

2 コックさんたち

3 子どもたち

4 工場の昼食

問7 ⑦「心臓の音が伝わってきます」とあるが、ここではどういうことか。

1 子どもの心臓の音が工場の人に聞こえること

2 どきどきしているようすが読んでいる人に分かること

3 はきはきしているようすが読んでいる人に想像(そうぞう)できること

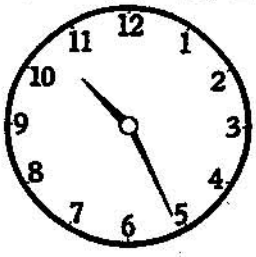
4 びっくりしているようすが工場の人に感じられること

問題II　次の図は二種類の時計の文字盤である。図を参考にしながら、文章を読んで後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

デジタル時計の文字盤



アナログ時計の文字盤



A　見慣れたはずの時計でも、よく見ると不思議なことがたくさんある。たとえば、時計の文字盤は12時から始まっているのはなぜか。結論から先にいうと、時計が考案された（紀元前3000～4000年）(注1)のが、人類がゼロを発見する（8～9世紀）よりも先だったからといわれている。

B　しかし、数字は連続性からいえば、①午前12時59分の次に1時が来るのはおかしいので、文字盤の頂点は「ゼロ」にすべきだとする考え方もある。日本では混同(注2)を避けるため、新聞やテレビ、そして日本時計学会のデジタル時計の表示などでは0時表記を優先(注3)させているものの、時計の文字盤そのものを［　　②　　］。（中略）

C　また、文字盤のローマ数字はIVでなく、IIIIが使われる。これはフランスのシャルル5世が建設中の時計を見て、「文字盤のIVはVからIを引くことになり縁起(注4)が悪いのでIIIIにせよ」と指示を出したのが後世に引き継(注5)がれた、とのエピソード(注6)がある。*IIIIは正式なローマ数字には見当たらないもので、時計の文字盤だけに用いられる。

③右回りにしろ、12時から始まることにしろ、ローマ数字の表記のしかたにしろ、④世界中の時計に徹底されているのが興味深い。（中略）

D　時計のアナログ文字盤を応用すると、方角を指示するときにも便利だ。船に乗っているときに進行方向を12時と考え、「3時方向にクジラを発見！」と声を出せば、それだけで、ほとんどの人が⑤クジラを見つけることができるだろう。

時計はたんに時刻がわかればよい、とする計測機器ではない。見やすさと美しさが兼ね備わっていなければならない。12を0に変えない理由、IIIIをIVにしない理由、それらは時計職人たちの怠慢(注7)の結果ではなく、時計としての完成度を維持するために受け継がれている大切な要素なのではないだろうか。

（織田一朗『時計の針はなぜ右回りなのか』草思社 による）

(注1) 紀元前：B.C.、西暦元年（1年）より前

(注2) 混同：区別しなければならないものを、間違えて同じにすること

(注3) 優先：ほかよりも先にすること

(注4) 縁起が悪い：何か悪いことが起こりそうな気がする

(注5) 引き継ぐ：前の人がしたことを受け取って後に伝える

(注6) エピソード：興味深い短い話

(注7) 怠慢：なまけること

＊印以下の文は、原著の次版において「Ⅲは一般的に使用されているローマ数字には見当たらないもので、時計の文字盤に用いられる』と改訂される予定。

問1 ①「連続性から言えば、午前12時59分の次に1時が来るのはおかしい」とあるが、なぜおかしいのか。

1 12時59分の次に来るのは、13時のはずだから

2 数字の連続性から言えば、1の前は 0.9だから

3 59分は「分」の単位で、1時は「時」の単位だから

4 数字の連続性から言えば、59の次は60だから

問2 [②] に入る適当な文はどれか。

1 0にすると間違いが少なくて便利である

2 0にしてもあまり有効とは言えない

3 0に変えたいという考えが生まれている

4 0にしようという動きにはなっていない

問3 次のa・b・c・dのことを、歴史的に古いものから順番に並べた組み合わせはどれか。

a：フランスのシャルル5世が建設中の時計を見たこと

b：人類がゼロを発見したこと

c：時計の文字盤では、ローマ数字のⅣではなく、Ⅲが使われること

d：時計が初めて作られたこと

1 d — c — a — b

2 d — b — a — c

3 b — d — a — c

4 b — c — a — d

問4　③「右回りにしろ」とあるが、時計が右回りであることに基づいて述べているのはA～Dのどの段落か。

1　A　　2　B　　3　C　　4　D

問5　④「世界中の時計に徹底(てってい)されている」とあるが、どういう意味か。

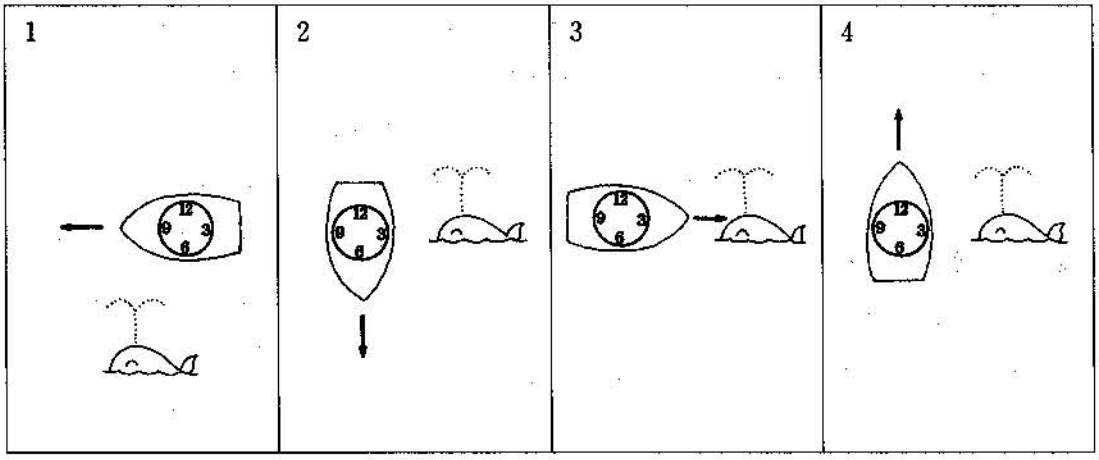
1　世界中の人が、時計は右回りで12時から始まり、Ⅲを使うことを完全に知っている

2　右回りか、12時から始まるか、Ⅲを使うかに関係なく、世界中で時計が使われている

3　世界中どこの時計でも、右回りで12時から始まり、ローマ数字の時はⅢを使っている

4　右回りや12時から始まることやⅢを使うことなどの問題点に世界中の人が気づいている

問6　⑤「クジラを見つけることができる」のは、1・2・3・4のどの場合か。



問7　筆者は時計について、どのように考えているか。

1　世界中共通して使える機械であり、長い歴史の中から生まれた美しさも持っている。

2　数字の連続性の点で問題があるので、これからはデジタル時計を使うほうがいい。

3　正式なローマ数字にはないⅢが使われているので、文字盤(もじばん)を変えなければならない。

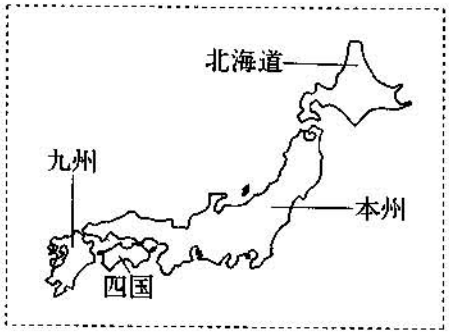
4　ただ時刻を知るためだけではなく、方角の指示など広く応用(おうよう)することを考えたい。

問題III　次の(1)～(6)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　日本が島国であることは誰(だれ)でも知っているけれども、たいていの人は日常生活の中でそのことを忘れている。日本全体の面積の95パーセントは本州(注)・北海道・九州・四国の四つの島が占めている。この四島では［　　］、周囲を海に囲まれているという実感は薄い。本当に島という感じを味わうにはもっと小さな、いわゆる離島(りとう)に行ってみなければならない。

（池澤夏樹『むくどり通信』朝日新聞社 による）

(注)



【問い】　この文章の［　　］の部分には、次のうちのどれが入るか。

1　多すぎて

2　小さすぎて

3　大きすぎて

4　少なすぎて

(2) 液体としてのH_2Oを表す語として、日本語には「湯」と「水」がある。この場合、湯というもの、水というものの区別がまずはっきりとあって、それに対してそれぞれ「湯」(注1)および「水」という名前がつけられているというふうに普通考えられる。これは、ごく当たり前の見方であり、たしかにそういう面もある。しかし、よく考えてみると、これによってすべて説明がつくわけではないことがわかってくる。この見方に従(したが)った場合、(注2)あらかじめ存在するとみられる湯とは一体何か、また、水とは何かを考えてみると、湯は温かいもの、そして水は冷たいものという程度の漠然(ばくぜん)(注3)としたことはいえても、では、何度以上が湯で、何度以下が水かということになると、はっきりと決めることはできない。つまり、自然界には、水と湯の明確な区分というものは本来存在しないのである。

(牧野信也『アラブ的思考様式』講談社学術文庫 による)

(注1)「湯」および「水」：「湯」と「水」

(注2) あらかじめ：もともと、はじめから

(注3) 漠然(ばくぜん)とした：はっきりしない

【問い】 「この見方に従(したが)った場合」とあるが、「この見方」とはどのような見方か。

1 日本語には液体のH_2Oを表す語として「湯」と「水」があるという見方

2 湯と水の区別がはっきりとあって、それぞれに名前があるという見方

3 湯は温かいもの、水は冷たいものであるのが当たり前であるという見方

4 自然界には、水と湯の明確な温度の区分は本来存在しないという見方



(3) 「何杯食べても四百円か」

男は、ラーメン屋の立て看板(かんばん)に目をやると、すぐに店の中に入った。

男は若く、体格(たいかく)(注1)が良く、かなりの大食漢(たいしょくかん)(注2)。

ラーメンを一杯、軽く食べると二杯目に入った。

「お客さん、どんどん食べて下さい」

やがて、三杯目。これもクリア(注3)。

「まだまだ遠慮(えんりょ)しないで、もっと食べてもいいんですよ」①

『それにしても、こんなことでよく商売が成り立つな』②(注4)

男は四杯目に入った。だが、さすがに全部食べることはできなかった。

「もう腹いっぱい。四杯でやめておくよ。お勘定(かんじょう)！」

「千六百円です」

「えっ、四百円じゃないんですか」

「お客さん、外の看板を見てくださいよ」

『おかしいな』と思い、看板を見ると（何杯食べても一杯四百円）のまちがいだった。

（伊藤聡「何杯食べても」『小説現代』講談社 1996年3月号による）

（注1）体格(たいかく)が良い：体が大きくてしっかりしている

（注2）大食漢(たいしょくかん)：たくさん食べる人

（注3）クリア：ぜんぶ食べてしまうこと、目標(もくひょう)をこえること

（注4）成り立つ：できる

【問1】 ①「まだまだ遠慮(えんりょ)しないで、もっと食べてもいいんですよ」とあるが、店の人はなぜこう言ったと考えられるか。

1 客が食べれば食べるほどそれだけ自分がもうかると考えたから

2 客が遠慮していると思い、もっとすすめようと思ったから

3 客がとてもおなかがすいていてかわいそうに思えたから

4 客がラーメンをどんどん食べる様子が気持ち良く思えたから

【問2】 男が②「こんなことでよく商売が成り立つな」と考えたのはなぜか。

1 その店の人が自分に無理に食べさせようとしたから

2 その店のラーメンは何杯食べても四百円だと思ったから

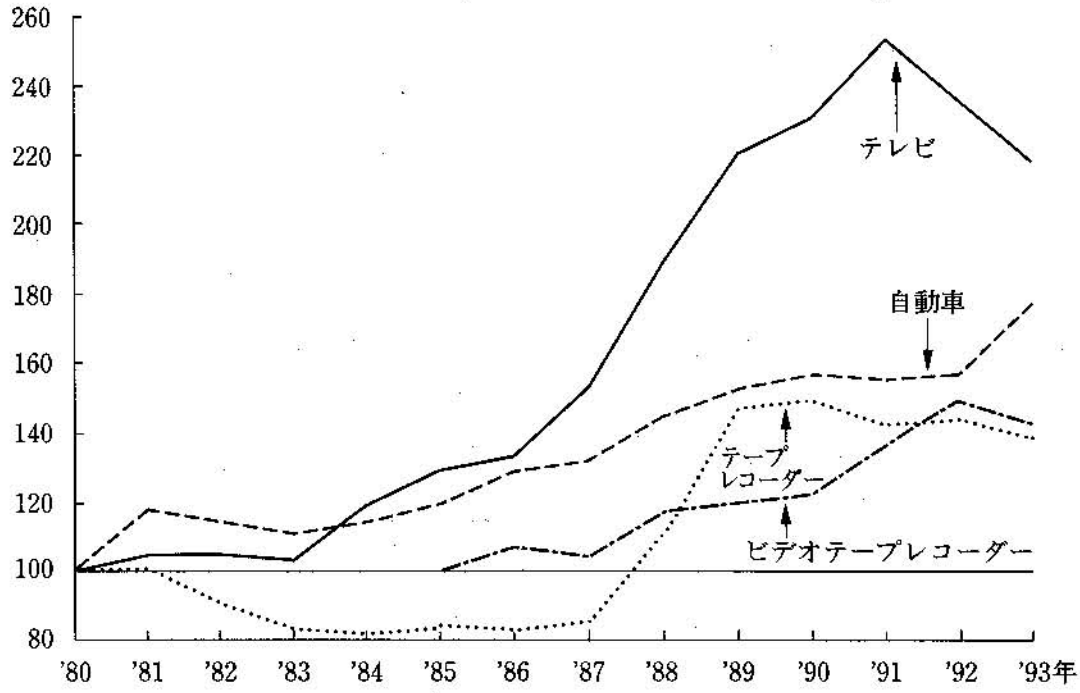
3 その店ではラーメンが一杯四百円しかしなかったから

4 その店で食べたラーメンがあまりおいしくなかったから

(4) 次の文章は、下のグラフを説明したものです。

日本人の日常生活で一般的に使用される電気製品や自動車の購入(注1)価格はどのように変化しているだろうか。グラフを見てその変化と理由を検討してみよう。このグラフは1980年の購入価格を100としたときの毎年の購入価格を表したものである。（ a ）は、1987年を境に購入価格が急速に上昇(注2)したが、1989年からはあまり変化していない。その理由としては1988年頃、CDプレーヤーがついて価格が上がったためと考えられる。（ b ）も同様に1987年頃から大幅に価格が上昇しているが、1991年を頂点にそれ以後下降に転じ(注3)ている。これは大型化による価格の上昇とその後の消費者の大型離れが影響していると考えられる。1985年から統計をとり始めた（ c ）を見ると、購入価格は少しずつ上がってきたが、1992年以後、やや下降し始めている。（ d ）も、1983年から次第に上昇し、さらに1993年には大きく購入価格が伸びている。その理由は、輸入が増加したからである。

(注1) 購入 ：買うこと
(注2) 上昇：上がること
(注3) 転じる：変わる



(グラフ：家計消費研究会編『家計簿からみたニッポン1994』による)

【問い】 グラフを見て、文章中の（a）（b）（c）（d）にはそれぞれ何が入るか。次の組み合わせの中で正しいものを選びなさい。

1 a：テレビ
b：ビデオテープレコーダー
c：自動車
d：テープレコーダー

2 a：テレビ
b：テープレコーダー
c：ビデオテープレコーダー
d：自動車

3 a：テープレコーダー
b：テレビ
c：自動車
d：ビデオテープレコーダー

4 a：テープレコーダー
b：テレビ
c：ビデオテープレコーダー
d：自動車

(5) 家を建てた人が、楽にその家を建てたか、それとも、かなり［　　］建てたかということは照明(注1)器具を見ればわかるという。そういう目で見たことはないが、そういうもんだそうだ。

建築でいえば、照明の取りつけが最後になる。従って、だんだんに資金につまって(注2)くると、最後のところでお粗末になる。

（山口瞳『男性自身　困った人たち』新潮文庫 による）

（注1）照明：明かり

（注2）つまる：残りがなくなって困る

【問い】［　　］に入る最も適当なものを一つ選びなさい。

1 時間が不足して
2 体力がなくなって
3 楽しみにして
4 苦しい思いをして

(6) 下のA～Dは、それぞれア、イ、ウ、エのどこかに入る文です。

私が図書館で働いていたころ、進くんという六つの男の子が、ときどき図書館へやってきました。本には全然興味(おうみ)のないらしい進くんが、そもそもどうして図書館へ来たのか、そこのところはわかりませんが、とにかく、(注1)

ア

あるとき、それをしかるかわりに、絵本を読んでやったところが、それからは、

イ

でも、見ていますと、

ウ

それでいて、読み進んで残りのページが少なくなると、「これがすんだら、あれね」と、次の本をさすのです。結局、

エ

A 進くんにとっては、読んでもらうということが、かまってもらえるという意味でうれしかったのでしょう。(注2)

B やってくると、一応(いちおう)パラパラと雑誌を見、そのあとは、奇声(きせい)を発したり、(注3)机の間を走ったり、騒(さわ)ぎはじめます。

C 肝心(かんじん)の読んでもらっている本には、それほど興味をもっていないことがわかるのです。(注4)

D 来るたんびに、読め読めとせがむようになりました。(注5) (注6)

(松岡享子『えほんのせかい こどものせかい』日本エディタースクール出版部 による)

(注1) そもそも：もともと、第一に

(注2) かまう：世話をする、相手になる

(注3) 奇声(きせい)を発する：高くて変な声を出す

(注4) 肝心(かんじん)の：いちばん大事なはずの

(注5) たんびに：たびに

(注6) せがむ：しつこく頼む

【問い】 正しい組み合わせのものを選びなさい。

1 ア：B イ：D ウ：C エ：A

2 ア：D イ：B ウ：C エ：A

3 ア：D イ：B ウ：A エ：C

4 ア：B イ：D ウ：A エ：C

問題IV　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　試験の＿＿＿静かにしてください。

1　うち　　2　あいだは　　3　まに　　4　うちに

(2)　アパートは部屋の中を見た＿＿＿借りるかどうかを決めたい。

1　うえに　　2　うえから　　3　うえにも　　4　うえで

(3)　お借りした本を楽しく＿＿＿いただきました。

1　読まれて　　2　お読みに　　3　読ませて　　4　読まされて

(4)　天候に＿＿＿あすの午後2時から試合を行います。

1　かかわらず　　2　よると　　3　よれば　　4　かかわり

(5)　電話帳(でんわちょう)で調べた＿＿＿そういう名前の会社はなかった。

1　ところ　　2　だけに　　3　からに　　4　ばかりでは

(6)　目的に＿＿＿まっすぐに進んでいるときが幸せな時だ。

1　あたって　　2　のって　　3　むかって　　4　あって

(7)　冗談(じょうだん)＿＿＿まじめに考えてください。

1　ぬいて　　2　しないで　　3　しても　　4　ぬきで

(8)　家にばかりいないで映画でも見に行こう＿＿＿。

1　まいか　　2　ともしない　　3　じゃないか　　4　ともする

(9)　きょうは卒業式なので妹が私に買って＿＿＿スカーフをして行こう。

1　いただいた　　2　くださった　　3　もらった　　4　くれた

(10)　ここでお待ち＿＿＿ください。

1　になって　　2　して　　3　になさって　　4　させて

(11)　この仕事を引き受ける＿＿＿全力でやろう。

1　からに　　2　からには　　3　かぎりに　　4　かぎりで

(12) 水道代は一か月に_____3000円かかります。

1 つき　　2 とって　　3 わたり　　4 かけ

(13) 市役所では市民の生活に_____さまざまな相談に応じている。

1 かける　　2 かわる　　3 かする　　4 かかわる

(14) 諸外国に_____日本は一人が出すごみの量が多い。

1 よって　　2 くらべ　　3 しらべ　　4 はじめ

(15) みなさんのご希望に_____商品を生産していくつもりです。

1 おうじて　　2 つけて　　3 じつげんして　　4 ひかくして

(16) 日本の6月は1年でいちばん日が暮れるのが遅くて、7時に_____暗くなりません。

1 なると　　2 なっても　　3 なって　　4 なれば

(17) 今、そこで地震のニュースを聞いた_____です。

1 うち　　2 ほど　　3 ばかり　　4 かぎり

(18) 説明を聞いたから_____すぐにできるというものでもない。

1 としても　　2 としたら　　3 といえば　　4 といって

(19) 花づくりはわたしに_____一番の楽しみである。

1 ついて　　2 たいして　　3 とって　　4 つれて

(20) 都心の人口増加に_____住宅問題は深刻化している。

1 なった　　2 して　　3 ともなう　　4 そった

(21) 人類は長い年月に_____努力を重ね、ついに月への飛行に成功した。

1 つれて　　2 したがって　　3 かかって　　4 わたって

(22) 候補者の中で国民の意思を代表する人はあの人を_____ない。

1 ひかえて　　2 おいて　　3 つうじて　　4 こえて

問題V　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　多くの人が不可能だと思っているにもかかわらず、あの人は新発明のための研究を＿＿＿。

1　あきらめるべきだ　　2　あきらめようとしない

3　あきらめるはずだ　　4　あきらめるかもしれない

(2)　安い皿は割れやすいというが、高い皿にしたって＿＿＿。

1　同じようなものだ　　2　同じではあるまい

3　同じどころではない　　4　同じではないはずだ

(3)　病気の時まっ先に見舞いに来てくれたのは、彼の友情のあらわれに＿＿＿。

1　ほかでもない　　2　ほかではない

3　ほかならない　　4　ほかしかない

(4)　労働条件の変更について会社から説明を受けたが、私はどうも納得＿＿＿。

1　しかねない　　2　しきれる

3　しかねる　　4　したがる

(5)　山田さんとの約束では、3時までに東京駅に＿＿＿。

1　行くにきまっている　　2　行こうではないか

3　行こうとしている　　4　行くことになっている

(6)　いくら丈夫でも、こんなに働かされては平気でいられる＿＿＿。

1　わけがある　　2　わけである

3　わけがない　　4　わけのない

問題VI　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　大学を卒業した後どんな職業につくべきか、迷っている。会社員になるか＿＿＿、学校の先生になるかだ。

1　それほど　　2　それでも

3　それとも　　4　それでは

(2)　彼は勉強がきらいだった。授業中はあくびばかりしていた。しかし卒業に＿＿＿先生との別れをいちばん悲しんだのは彼だった。

1　関して　　2　際して

3　対して　　4　面して

(3)　彼は夕食前にいつもこの公園を散歩する。どんな天気でもこの日課を変えることはない。晴れた気持ちのよい日は＿＿＿、雨の降る寒い日でも同じ道を歩いている。

1　もとより　　2　もとには

3　もとまで　　4　もとでは

(4)　電話というものはいろいろと便利だが、困ることもある。＿＿＿一人で静かにしていたいと思う時でも、遠慮なく私を呼び出すのだ。

1　もはや　　2　しかし

3　ただし　　4　たとえ

(5)　社長は常に会社の状況をつかんでおかなければならない。いい＿＿＿悪い＿＿＿、現状を報告させる必要がある。

1　につけ　　につけ　　2　でも　　でも

3　にあり　　にあり　　4　とも　　とも

1級　平成8年度　日本語能力試験　解答用紙（文字・語彙）

受験番号 Examinee Registration Number		名前 Name	

× × × × × ×

あなたの受験票と同じかどうか確かめてください。
Check up on your Test Voucher.

〈 注 意 Notes 〉

1．鉛筆（HB、No. 2）で書いてください。
（ペンやボールペンでは書かないでください。）
Use a medium soft (HB or No.2) pencil.
(Do not use a pen or ball-point pen.)

2．書きなおすときは、消しゴムできれいに消してください。
Erase any unintended marks completely.

3．きたなくしたり、折ったりしないでください。
Do not soil or bend this sheet.

4．マーク例　Marking examples.

良い例 Correct	悪い例 Incorrect
●	⊘ ○ ◑ ◎ ◐ ◉

（ここに書いてはいけません。）
Do not mark in this part.

0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9

解答欄

問題 I

問1	(1)	①	②	③	④
	(2)	①	②	③	④
	(3)	①	②	③	④
	(4)	①	②	③	④
問2	(1)	①	②	③	④
	(2)	①	②	③	④
	(3)	①	②	③	④
	(4)	①	②	③	④
問3	(1)	①	②	③	④
	(2)	①	②	③	④
	(3)	①	②	③	④
	(4)	①	②	③	④
問4	(1)	①	②	③	④
	(2)	①	②	③	④
	(3)	①	②	③	④

問題 II

(例)	①	●	③	④
(1)	①	②	③	④
(2)	①	②	③	④
(3)	①	②	③	④
(4)	①	②	③	④
(5)	①	②	③	④

問題 III

問1	(1)	①	②	③	④
	(2)	①	②	③	④
	(3)	①	②	③	④
	(4)	①	②	③	④
問2	(1)	①	②	③	④
	(2)	①	②	③	④
	(3)	①	②	③	④
	(4)	①	②	③	④
問3	(1)	①	②	③	④
	(2)	①	②	③	④
	(3)	①	②	③	④
	(4)	①	②	③	④
問4	(1)	①	②	③	④
	(2)	①	②	③	④
	(3)	①	②	③	④

問題 IV

(例)	●	②	③	④
(1)	①	②	③	④
(2)	①	②	③	④
(3)	①	②	③	④
(4)	①	②	③	④
(5)	①	②	③	④

問題 V

(1)	①	②	③	④
(2)	①	②	③	④
(3)	①	②	③	④
(4)	①	②	③	④
(5)	①	②	③	④
(6)	①	②	③	④
(7)	①	②	③	④
(8)	①	②	③	④
(9)	①	②	③	④
(10)	①	②	③	④
(11)	①	②	③	④
(12)	①	②	③	④
(13)	①	②	③	④
(14)	①	②	③	④
(15)	①	②	③	④

問題 VI

(例)	①	②	●	④
(1)	①	②	③	④
(2)	①	②	③	④
(3)	①	②	③	④
(4)	①	②	③	④
(5)	①	②	③	④
(6)	①	②	③	④
(7)	①	②	③	④
(8)	①	②	③	④
(9)	①	②	③	④
(10)	①	②	③	④

1級　平成8年度　日本語能力試験　解答用紙（聴解）

受験番号 Examinee Registration Number		名前 Name	

× × × × × ×

あなたの受験票と同じかどうか確かめてください。
Check up on your Test Voucher.

〈注意 Notes〉

1．鉛筆（HB、No. 2）で書いてください。
（ペンやボールペンでは書かないでください。）
Use a medium soft (HB or No.2) pencil.
(Do not use a pen or ball-point pen.)

2．書きなおすときは、消しゴムできれいに消してください。
Erase any unintended marks completely.

3．きたなくしたり、折ったりしないでください。
Do not soil or bend this sheet.

4．マーク例　Marking examples.

良い例 Correct	悪い例 Incorrect
●	⊘ ◯ ◉ ⊖ ◐ ⊗

（ここに書いてはいけません。）
Do not mark in this part.

0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9

解答欄

問題 I

例	正しい	●	②	③	④
1番	正しい	①	②	③	④
2番	正しい	①	②	③	④
3番	正しい	①	②	③	④
4番	正しい	①	②	③	④
5番	正しい	①	②	③	④
6番	正しい	①	②	③	④
7番	正しい	①	②	③	④
8番	正しい	①	②	③	④
9番	正しい	①	②	③	④
10番	正しい	①	②	③	④
11番	正しい	①	②	③	④

問題 II

例	正しい	●	②	③	④
1番	正しい	①	②	③	④
2番	正しい	①	②	③	④
3番	正しい	①	②	③	④
4番	正しい	①	②	③	④
5番	正しい	①	②	③	④
6番	正しい	①	②	③	④
7番	正しい	①	②	③	④
8番	正しい	①	②	③	④
9番	正しい	①	②	③	④
10番	正しい	①	②	③	④
11番	正しい	①	②	③	④
12番	正しい	①	②	③	④
13番	正しい	①	②	③	④
14番	正しい	①	②	③	④
15番	正しい	①	②	③	④

1級　平成8年度　日本語能力試験　解答用紙（読解・文法）

受験番号 Examinee Registration Number		名前 Name		× × × × × ×

あなたの受験票と同じかどうか確かめてください。
Check up on your Test Voucher.

〈 注 意 Notes 〉

1. 鉛筆（HB、No. 2）で書いてください。（ペンやボールペンでは書かないでください。）
   Use a medium soft (HB or No.2) pencil.
   (Do not use a pen or ball-point pen.)
2. 書きなおすときは、消しゴムできれいに消してください。
   Erase any unintended marks completely.
3. きたなくしたり、折ったりしないでください。
   Do not soil or bend this sheet.
4. マーク例　Marking examples.

良い例 Correct	悪い例 Incorrect
●	⊘ ⊘ ⊘ ⊘ ⊘ ⊘

（ここに書いてはいけません。）
Do not mark in this part.

0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9

解答欄

問題 I

問1	①	②	③	④
問2	①	②	③	④
問3	①	②	③	④
問4	①	②	③	④
問5	①	②	③	④
問6	①	②	③	④
問7	①	②	③	④

問題 II

問1	①	②	③	④
問2	①	②	③	④
問3	①	②	③	④
問4	①	②	③	④
問5	①	②	③	④
問6	①	②	③	④
問7	①	②	③	④

問題 III

(1)		①	②	③	④
(2)		①	②	③	④
(3)	問1	①	②	③	④
	問2	①	②	③	④
(4)		①	②	③	④
(5)		①	②	③	④
(6)		①	②	③	④

問題 IV

(1)	①	②	③	④
(2)	①	②	③	④
(3)	①	②	③	④
(4)	①	②	③	④
(5)	①	②	③	④
(6)	①	②	③	④
(7)	①	②	③	④
(8)	①	②	③	④
(9)	①	②	③	④
(10)	①	②	③	④
(11)	①	②	③	④
(12)	①	②	③	④
(13)	①	②	③	④
(14)	①	②	③	④
(15)	①	②	③	④
(16)	①	②	③	④
(17)	①	②	③	④
(18)	①	②	③	④
(19)	①	②	③	④
(20)	①	②	③	④
(21)	①	②	③	④
(22)	①	②	③	④

問題 V

(1)	①	②	③	④
(2)	①	②	③	④
(3)	①	②	③	④
(4)	①	②	③	④
(5)	①	②	③	④
(6)	①	②	③	④
(7)	①	②	③	④

問題 VI

(1)	①	②	③	④
(2)	①	②	③	④
(3)	①	②	③	④
(4)	①	②	③	④
(5)	①	②	③	④
(6)	①	②	③	④

2級　平成8年度　日本語能力試験　解答用紙（文字・語彙）

受験番号 Examinee Registration Number	

名前 Name	

× × × × × ×

あなたの受験票と同じかどうか確かめてください。
Check up on your Test Voucher.

〈 注 意 Notes 〉

1．鉛筆（HB、No. 2）で書いてください。
（ペンやボールペンでは書かないでください。）
Use a medium soft (HB or No.2) pencil.
(Do not use a pen or ball-point pen.)

2．書きなおすときは、消しゴムできれいに消してください。
Erase any unintended marks completely.

3．きたなくしたり、折ったりしないでください。
Do not soil or bend this sheet.

4．マーク例　Marking examples.

良い例 Correct	悪い例 Incorrect
●	⊘ ◐ ◑ ◒ ◔ ◕

（ここに書いてはいけません。）
Do not mark in this part.

0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9

解答欄（らん）

問題 I

問1	(1)	①	②	③	④
	(2)	①	②	③	④
	(3)	①	②	③	④
問2	(1)	①	②	③	④
	(2)	①	②	③	④
	(3)	①	②	③	④
	(4)	①	②	③	④
	(5)	①	②	③	④
問3	(1)	①	②	③	④
	(2)	①	②	③	④
	(3)	①	②	③	④
問4	(1)	①	②	③	④
	(2)	①	②	③	④
	(3)	①	②	③	④
問5	(1)	①	②	③	④
	(2)	①	②	③	④
	(3)	①	②	③	④
	(4)	①	②	③	④
	(5)	①	②	③	④
	(6)	①	②	③	④

問題 II

問1	(1)	①	②	③	④
	(2)	①	②	③	④
	(3)	①	②	③	④
問2	(1)	①	②	③	④
	(2)	①	②	③	④
	(3)	①	②	③	④
問3	(1)	①	②	③	④
	(2)	①	②	③	④
	(3)	①	②	③	④
	(4)	①	②	③	④
問4	(1)	①	②	③	④
	(2)	①	②	③	④
	(3)	①	②	③	④
	(4)	①	②	③	④
問5	(1)	①	②	③	④
	(2)	①	②	③	④
問6	(1)	①	②	③	④
	(2)	①	②	③	④
	(3)	①	②	③	④
	(4)	①	②	③	④

問題 III

(1)	①	②	③	④
(2)	①	②	③	④
(3)	①	②	③	④
(4)	①	②	③	④
(5)	①	②	③	④
(6)	①	②	③	④
(7)	①	②	③	④
(8)	①	②	③	④
(9)	①	②	③	④
(10)	①	②	③	④
(11)	①	②	③	④
(12)	①	②	③	④
(13)	①	②	③	④
(14)	①	②	③	④
(15)	①	②	③	④

問題 IV

(1)	①	②	③	④
(2)	①	②	③	④
(3)	①	②	③	④
(4)	①	②	③	④
(5)	①	②	③	④
(6)	①	②	③	④
(7)	①	②	③	④
(8)	①	②	③	④
(9)	①	②	③	④
(10)	①	②	③	④

2級　平成8年度　日本語能力試験　解答用紙（聴解）

受験番号 Examinee Registration Number	

名前 Name	

× × × × × ×

あなたの受験票と同じかどうか確かめてください。
Check up on your Test Voucher.

〈 注 意 Notes 〉

1．鉛筆（HB、No. 2）で書いてください。
（ペンやボールペンでは書かないでください。）
Use a medium soft (HB or No.2) pencil.
(Do not use a pen or ball-point pen.)

2．書きなおすときは、消しゴムできれいに消してください。
Erase any unintended marks completely.

3．きたなくしたり、折ったりしないでください。
Do not soil or bend this sheet.

4．マーク例　Marking examples.

良い例 Correct	悪い例 Incorrect
●	⊗ ◎ ◐ ◑ ◔ ●

（ここに書いてはいけません。）
Do not mark in this part.

0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9

解　答　欄（らん）

問題 I

例	正しい	●	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
1番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
2番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
3番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
4番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
5番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
6番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
7番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
8番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
9番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
10番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
11番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④

問題 II

例	正しい	①	●	③	④
	正しくない	①	②	③	④
1番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
2番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
3番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
4番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
5番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
6番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
7番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
8番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
9番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
10番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④

11番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
12番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
13番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
14番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④
15番	正しい	①	②	③	④
	正しくない	①	②	③	④

2級　平成8年度　日本語能力試験　解答用紙（読解・文法）

受験番号 Examinee Registration Number	

名前 Name	

× × × × × ×

あなたの受験票と同じかどうか確かめてください。
Check up on your Test Voucher.

〈 注 意 Notes 〉

1．鉛筆（HB、No. 2）で書いてください。
（ペンやボールペンでは書かないでください。）
Use a medium soft (HB or No.2) pencil.
(Do not use a pen or ball-point pen.)

2．書きなおすときは、消しゴムできれいに消してください。
Erase any unintended marks completely.

3．きたなくしたり、折ったりしないでください。
Do not soil or bend this sheet.

4．マーク例　Marking examples.

良い例 Correct	悪い例 Incorrect
●	⊘ ⓪ ❶ ❷ ❸ ❹

（ここに書いてはいけません。）
Do not mark in this part.

0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9

解答欄（らんの）

問題 I

問1	①	②	③	④
問2	①	②	③	④
問3	①	②	③	④
問4	①	②	③	④
問5	①	②	③	④
問6	①	②	③	④
問7	①	②	③	④

問題 II

問1	①	②	③	④
問2	①	②	③	④
問3	①	②	③	④
問4	①	②	③	④
問5	①	②	③	④
問6	①	②	③	④
問7	①	②	③	④

問題 III

(1)		①	②	③	④
(2)		①	②	③	④
(3)	問1	①	②	③	④
	問2	①	②	③	④
(4)		①	②	③	④
(5)		①	②	③	④
(6)		①	②	③	④

問題 IV

(1)	①	②	③	④
(2)	①	②	③	④
(3)	①	②	③	④
(4)	①	②	③	④
(5)	①	②	③	④
(6)	①	②	③	④
(7)	①	②	③	④
(8)	①	②	③	④
(9)	①	②	③	④
(10)	①	②	③	④
(11)	①	②	③	④
(12)	①	②	③	④
(13)	①	②	③	④
(14)	①	②	③	④
(15)	①	②	③	④
(16)	①	②	③	④
(17)	①	②	③	④
(18)	①	②	③	④
(19)	①	②	③	④
(20)	①	②	③	④
(21)	①	②	③	④
(22)	①	②	③	④

問題 V

(1)	①	②	③	④
(2)	①	②	③	④
(3)	①	②	③	④
(4)	①	②	③	④
(5)	①	②	③	④
(6)	①	②	③	④

問題 VI

(1)	①	②	③	④
(2)	①	②	③	④
(3)	①	②	③	④
(4)	①	②	③	④
(5)	①	②	③	④

1級　正解と配点

〈文字・語彙〉

問題Ⅰ

問1				問2				問3				問4		
(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
1	2	1	3	3	4	1	3	4	1	3	1	4	1	3

問題Ⅱ

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
3	4	1	2	4

問題Ⅲ

問1				問2				問3				問4		
(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
3	1	4	3	3	1	2	4	2	1	4	3	1	2	3

問題Ⅳ

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
2	2	3	2	4

問題Ⅴ

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
1	4	3	3	4	1	3	4	2	4	3	2	2	3	1

問題Ⅵ

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
1	3	1	4	1	2	3	2	4	4

配　点　問題別配点：問題Ⅰ～Ⅳ　各問1点，問題Ⅴ・Ⅵ　各問2点，合計90点
100点満点での得点への換算式：〈問題別配点による合計得点〉÷90×100

〈聴解〉

問題Ⅰ

1番	2番	3番	4番	5番	6番	7番	8番	9番	10番	11番
3	4	2	4	2	3	4	1	1	2	4

問題Ⅱ

1番	2番	3番	4番	5番	6番	7番	8番	9番	10番
2	2	3	4	2	4	4	1	2	1

11番	12番	13番	14番	15番
3	1	4	1	3

配　点　問題別配点：問題Ⅰ・Ⅱ　各問1点，合計26点
100点満点での得点への換算式：〈問題別配点による合計得点〉÷26×100



〈読解・文法〉

問題Ⅰ

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7
4	2	2	3	3	1	4

問題Ⅱ

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7
3	4	2	4	1	2	3

問題Ⅲ

(1)	(2)	(3)		(4)	(5)	(6)
		問1	問2			
3	3	2	4	4	1	2

問題Ⅳ

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
1	1	4	2	3	1	1	3	4	1
(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)
2	2	2	3	2	4	2	4	4	1
(21)	(22)								
3	1								

問題Ⅴ

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
3	2	1	4	1	1	3

問題Ⅵ

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
1	2	3	4	3	1

配　点　問題別配点：問題Ⅰ～Ⅲ　各問5点，問題Ⅳ～Ⅵ　各問2点，
合計175点

200点満点での得点への換算式：〈問題別配点による合計得点〉÷175×200

（注）換算した得点は小数第1位を四捨五入する。

2級　正解と配点

〈文字・語彙〉

問題Ⅰ

問1			問2					問3		
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)
1	4	1	2	1	4	1	2	2	4	3

問4			問5					
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
3	2	4	4	1	3	4	2	1

問題Ⅱ

問1			問2			問3			
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)
1	3	4	2	1	4	2	4	3	1

問4				問5		問6			
(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)
4	3	3	1	2	1	1	3	1	3

問題Ⅲ

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
2	4	3	4	3	1	2	4	1	4

(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
1	3	2	1	3

問題Ⅳ

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
2	1	3	2	1	4	2	3	4	1

配　点　問題別配点：問題Ⅰ・Ⅱ　各問1点，問題Ⅲ・Ⅳ　各問2点，合計90点
100点満点での得点への換算式：〈問題別配点による合計得点〉÷90×100

〈聴解〉

問題Ⅰ

1番	2番	3番	4番	5番	6番	7番	8番	9番	10番	11番
1	1	3	2	1	3	2	4	3	4	4

問題Ⅱ

1番	2番	3番	4番	5番	6番	7番	8番	9番	10番
4	2	1	2	3	3	4	1	4	2

11番	12番	13番	14番	15番
1	3	2	4	2

配　点　問題別配点：問題Ⅰ・Ⅱ　各問1点，合計26点
100点満点での得点への換算式：〈問題別配点による合計得点〉÷26×100

〈読解・文法〉

問題Ⅰ

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7
3	4	1	1	4	4	2

問題Ⅱ

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7
1	4	2	4	3	4	1

問題Ⅲ

(1)	(2)	(3)		(4)	(5)	(6)
		問1	問2			
3	2	1	2	4	4	1

問題Ⅳ

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
2	4	3	1	1	3	4	3	4	1
(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)
2	1	4	2	1	2	3	4	3	3
(21)	(22)								
4	2								

問題Ⅴ

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
2	1	3	3	4	3

問題Ⅵ

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
3	2	1	4	1

配　点　問題別配点：問題Ⅰ～Ⅲ　各問5点，問題Ⅳ・Ⅴ　各問2点，
問題Ⅵ　各問3点，合計176点
200点満点での得点への換算式：〈問題別配点による合計得点〉÷176×200

（注）換算した得点は小数第1位を四捨五入する。

参考　平成８年度日本語能力試験実施要項

１．目　的

この試験は、日本国内及び国外において日本語を母語としない者を対象として日本語能力を測定し、認定することを目的として行うものである。

２．主催者

国際交流基金及び財団法人日本国際教育協会

国内においては、原則として、財団法人日本国際教育協会が実施する。

国外においては、原則として、国際交流基金が現地機関の協力を得て実施する。

３．試験の方法

(1) 対　象　原則として、日本語を母語としない者

(2) 試験日　平成８年12月８日(日)

(3) 試験地　国内：札幌、東京、名古屋、京阪神、広島、福岡

国外：31の国・地域、70都市

（台湾を含む。ただし、この場合は財団法人交流協会が実施する。）

４．試験の構成及び認定基準

１級、２級、３級及び４級の４種とする。各級の構成及び認定基準は、別表のとおりとする。

５．出願の手続き

(1) 国　内

イ．願　　書：所定の受験願書に必要事項を記入のうえ、出願すること。

ロ．受 験 料：財団法人日本国際教育協会が決定する。

ハ．出　　願：財団法人日本国際教育協会事業部日本語・統一試験課あてに提出すること。

〔〒153 東京都目黒区駒場４－５－29

電話 (03) 5454－5215〕

ニ．受付期間：平成８年８月12日(月)から９月18日(水)までとする。

(2) 国　外

イ．願　　書：所定の受験願書に必要事項を記入のうえ、出願すること。

ロ．受 験 料：国際交流基金が現地協力機関と協議のうえ、決定する。

ハ．出　　願：現地協力機関が指定する方法。
所定の受験願書に受験料を付して、現地協力機関に提出すること。

ニ．受付期間：国際交流基金が現地協力機関と協議のうえ、決定する。

6．結果の発表等

(1) 各級ごとに合否を判定し、受験者全員に合否結果通知書を送付するとともに、合格者には日本語能力認定書を交付する。

(2) 日本語能力認定書及び合否結果通知書は、平成9年2月中旬に発送する予定である。ただし、国外分については、同日に各現地協力機関を通じて発送するため、各受験者に発送されるのは2月下旬の予定である。

(3) 多くの日本の大学又は短期大学では、私費留学生の入学選考の資料とするため、入学志望者に対して、1級の受験を課している。

このため、受験者本人及び受験願書に記入された大学又は短期大学に対し、平成9年1月10日(金)に試験成績（得点のみ）を郵送する予定である。

なお、1級の受験者のうち、日本の大学又は短期大学の受験を予定している者には、願書の所定欄に、受験予定の大学又は短期大学のコード番号を記入させる。

(4) 専修学校等のなかには、入学選考にあたり、2級の成績を参考にしている学校もある。

上記の目的のため、2級の成績を必要とする者のうち、願書の所定欄に専修学校等への通知に同意する旨の記載がある者については、平成9年1月31日(金)以降、学校側から照会があった場合にのみ、学校側に対し、試験成績(得点のみ)を通知するものとする。

試験の構成及び認定基準

（別　表）

級	構成			認定基準
	類別	時間	配点	
1	文字・語彙	45分	100点	高度の文法・漢字(2,000字程度)・語彙(10,000語程度)を習得し、社会生活をする上で必要であるとともに、大学における学習・研究の基礎としても役立つような、総合的な日本語能力（日本語を900時間程度学習したレベル）
	聴解	45分	100点	
	読解・文法	90分	200点	
	計	180分	400点	
2	文字・語彙	35分	100点	やや高度の文法・漢字(1,000字程度)・語彙(6,000語程度)を習得し、一般的なことがらについて、会話ができ、読み書きできる能力　（日本語を600時間程度学習し、中級日本語コースを修了したレベル）
	聴解	40分	100点	
	読解・文法	70分	200点	
	計	145分	400点	
3	文字・語彙	35分	100点	基本的な文法・漢字(300字程度)・語彙(1,500語程度）を習得し、日常生活に役立つ会話ができ、簡単な文章が読み書きできる能力　（日本語を300時間程度学習し、初級日本語コースを修了したレベル）
	聴解	35分	100点	
	読解・文法	70分	200点	
	計	140分	400点	
4	文字・語彙	25分	100点	初歩的な文法・漢字(100字程度)・語彙(800語程度）を習得し、簡単な会話ができ、平易な文、又は短い文章が読み書きできる能力　（日本語を150時間程度学習し、初級日本語コース前半を修了したレベル）
	聴解	25分	100点	
	読解・文法	50分	200点	
	計	100分	400点	

平成８年度 日本語能力試験

１・２級 試験問題と正解

（聴解問題カセットテープ付）

1997年４月25日　初版第１刷発行

著作・編集　財団法人 日本国際教育協会
〒153 東京都目黒区駒場４－５－29
電話　03－5454－5215

国 際 交 流 基 金
〒107 東京都港区赤坂１－12－32
アーク森ビル21F
電話　03－5562－3525

発　　行　株式会社 凡 人 社
〒102 東京都千代田区平河町１－３－13
菱進平河町ビル１Ｆ
電話　03－3263－3959

© 1996 Association of International Education, Japan
and The Japan Foundation

